高松市埋蔵文化財調査報告　第26集

一般国道11号高松東道路建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告

第四冊

井手東Ⅰ遺跡

（観察表・写真図版編）

1995.3

高松市教育委員会
建設省四国地方建設局

図　版　目　次

図版１－１　調査区中央部北壁土層堆積状況
　　－２　調査区西部南壁土層堆積状況
図版２－１　ＳＤ10完掘状況（南東から）
　　－２　ＳＤ11完掘状況（南西から）
図版３－１　ＳＤ10土層堆積状況
　　－２　ＳＤ11土層堆積状況
図版４－１　ＳＤ10遺物出土状況（北部）
　　－２　ＳＤ10遺物出土状況（南部）
　　－３　ＳＤ11（Ⅲ区南）遺物出土状況
　　－４　ＳＤ11（Ⅳ区南）遺物出土状況
図版５　ＳＤ10遺物出土状況
図版６　ＳＤ11遺物出土状況(1)
図版７　ＳＤ11遺物出土状況(2)
図版８－１　ＳＤ14完掘状況（南から）
　　－２　ＳＤ14遺物出土状況
図版９－１　ＳＤ09完掘状況（南西から）
　　－２　ＳＤ09土層堆積状況
図版10－１　ＳＤ12, 13完掘状況（南西から）
　　－２　ＳＤ01完掘状況（南から）
図版11－１　第１遺構面完掘状況（東から）
　　－２　第２遺構面北部完掘状況(東から）
図版12－１　第１遺構面南部完掘状況(東から）
　　－２　ＳＢ01完掘状況（東から）
図版13－１　ＳＢ02完掘状況（南から）
　　－２　ＳＡ01完掘状況（南から）
図版14－１　ＳＫ04完掘状況（北から）
　　－２　ＳＫ04土層堆積状況（東から）
図版15－１　ＳＫ08完掘状況（北から）
　　－２　ＳＫ08内北東部円形土坑完掘状況（東から）
図版16－１　ＳＫ08土層堆積状況
　　－２　ＳＫ08遺物出土状況
図版17－１　ＳＫ27～30完掘状況（南から）
　　－２　ＳＫ29完掘状況（南から）
図版18－１　ＳＫ27完掘状況（東から）
　　－２　ＳＫ27完掘状況細部
図版19－１　ＳＤ05・06完掘状況（北から）
　　－２　ＳＤ05土層堆積状況
図版20－１　ＳＤ08完掘状況（南から）
　　－２　ＳＤ08土層堆積状況
図版21－１　第３遺構面完掘状況（東から）
　　－２　第３遺構面完掘状況(南西から）
図版22－１　ＳＤ16•17•19完掘状況（南西から）
　　－２　ＳＤ17完掘状況（北から）
　　－３　ＳＤ15完掘状況（北から）
図版23－１　ＳＤ16完掘状況（北から）
　　－２　ＳＤ16土層堆積状況
図版24　ＳＤ10・11出土遺物　土器(1)　広口壷
図版25　ＳＤ10・11出土遺物　土器(2)　広口壷、無頸壷、甕
図版26　ＳＤ10・11出土遺物　土器(3)　鉢、高坏
図版27－１　ＳＤ10・11出土遺物　土器(4)　広口壷
　　－２　ＳＤ10・11出土遺物　土器(5)　広口壷
図版28－１　ＳＤ10・11出土遺物　土器(6)　鉢、高坏

図版28－2　ＳＤ10・11出土遺物　土器(7)
長頸壷、無頸壷
－3　ＳＤ10・11出土遺物　土器(8)鉢
図版29　ＳＤ10・11出土遺物　土器(9)
壷体部
図版30　ＳＤ10・11出土遺物　土器(10)甕
図版31　ＳＤ10・11出土遺物　土器(11)甕
図版32　ＳＤ10・11出土遺物　土器(12)
甕
図版33－1　ＳＤ10・11出土遺物　石器(1)
楔形石器、石鍬
－2　ＳＤ10・11出土遺物　石器(2)
石鏃、石槍
－3　ＳＤ10・11出土遺物　石器(3)
石庖丁、石鎌、削器
図版34　ＳＤ10・11出土遺物　石器(4)
図版35　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(1)
図版36　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(2)
図版37　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(3)
図版38　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(4)
図版39　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(5)
図版40　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(6)
図版41　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(7)
図版42　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(8)
図版43　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(9)
図版44　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(10)
図版45　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(11)
図版46　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(12)
図版47　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(13)
図版48　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(14)
図版49　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(15)
図版50　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(16)
図版51　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(17)
図版52　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(18)
図版53　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(19)
図版54　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(20)
図版55　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(21)
図版56　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(22)
図版57　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(23)
図版58　ＳＤ10・11出土遺物
木器、木製品(24)

図版59　　ＳＤ14出土土器
図版60－１　ＳＤ01出土土器
　　－２　調査区西端包含層出土土器
図版61－１　ＳＫ04出土土器
　　－２　ＳＫ07出土土器
　　－３　ＳＫ08出土土器
　　－４　ＳＫ11出土土器
　　－５　ＳＫ29出土貸銭
　　－６　ＳＤ08出土土器
　　－７　ＳＥ01出土土器

表　目　次

遺物観察表（土器）…… 1
遺物観察表（石器）……34
ＳＤ10・11出土木器、木製品計測表……42

1．遺物観察表（土器）

2．遺物観察表（石器）

3．ＳＤ10・11出土木器、木製品計測表

1．遺物観察表（土器）

ＳＤ０９　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第17図－1	－	縄文土器深鉢	口径12.4 底径5.3 器高9.3		口縁部内外面　ヨコナデ 体部外面　ヘラ削り 底部〃　指頭圧痕	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黄灰 内　黄褐	良	
－2	－	〃 底部	底径8.7 残存高1.6		底部内外面　ヨコナデ	〃	外内　暗灰黄	良	

ＳＤ１０・１１　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第20図－1	－	弥生土器広口壺Ａ	口径122 残存高1.0	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ	1㎜以下の長石、石英を多量含む	外　オリーブ黒 内　黒	良	
－2	－	〃	口径13.0 残存高0.9		口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外　褐灰 内　褐灰	良	
－3	－	〃	口径16.0 残存高0.8	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外内　にぶい黄褐	良	煤付着？
－4	－	〃	口径17.0 残存高1.1		口縁部内面　ヨコナデ 〃　外面　ヨコナデ 〃　ハケ	〃	外内　褐灰	良	
－5	図版27	〃	口径16.2 残存高1.5	口縁端部　刻目文 口縁部内面　斜格子文	口縁部外面　ヨコナデ	〃	外　灰黄褐 内　灰白	良	
－6	－	〃	口径19.4 残存高1.5	口縁端部　刻目文	口縁部内面　磨滅のため調整不明	〃	外　灰黄褐 内　にぶい黄橙	良	
－7	図版27	〃	口径18.2 残存高1.1	口縁端部　刻目文 口縁部内面　斜格子文	口縁部外面　ヨコナデ	〃	外　褐灰 内　黒褐	良	
－8	〃	〃	口径22.2 残存高1.3	口縁端部　刻目文 口縁部内面　斜格子文	口縁部外面　ヨコナデ	〃	外内　黒褐	良	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第20図－9	図版27	弥生土器広口壷A	口径20.4 残存高1.5	口縁部内面　櫛描波状文 刻目突帯文	口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外内　灰黄褐	良好	口縁部内面　黒斑
－10	〃	〃	口径15.9 残存高1.6	口縁端部　刻目文、凹線文2条 口縁部内面　斜格子文 円孔 2孔1対	口縁部外面　ヨコナデ	〃	外内　黒	良	
－11	〃	〃	口径19.8 残存高1.6	口縁端部　凹線2条 刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外　灰黄 内　黒	良	
－12	〃	〃	口径20.2 残存高1.5	口縁端部　刻目文3条 口縁部内面　斜格子文 円孔 2孔1対	口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外　灰黄褐 内　褐灰	良好	
－13	〃	〃	口径20.0 残存高1.7	口縁端部　凹線2条 刻目文 口縁部内面　斜格子文	口縁部外面　ヨコナデ	〃	内　黒	良	
－14	〃	〃	口径22.4 残存高1.6	口縁端部　凹線2条 刻目文 口縁部内面　斜格子文 円孔 2孔1対	口縁部外面　ヨコナデ	〃	外内　黄灰	良	
第21図－1	図版27	弥生土器広口壷B	口径11.0 残存高3.3		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部外面　ハケ	2㎜以下の長石、石英を含む	外　黄灰 内　黄灰	良	
－2	〃	〃	口径12.4 残存高2.3		口縁部内外面　ヨコナデ	1㎜以下の石英を多量に含む	外　褐灰 内　にぶい橙	良	
－3	〃	〃	口径11.8 残存高6.0	体部外面　櫛描波状文	口頸部内外面　ヨコナデ 体部外面　ハケ 〃　内面　ナデ	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　黒	良	
－4	〃	〃	口径15.4 残存高3.5	口縁端部　斜格子文	口縁端部　ヨコナデ 頸部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外内　暗灰黄	良	
－5	〃	〃	口径16.9 残存高1.3	口縁端部　綾杉文	口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外　灰 内　灰	良	
－6	－	〃	口径17.0 残存高3.5		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部外面　ハケ	〃	外内　灰	良	

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第21図－7	図版27	弥生土器広口壷B	口径18.6 残存高3.4	，	口縁部内外面　ヨコナデ	2㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　にぶい黄橙 内　褐灰	良	
－8	〃	〃	口径20.2 残存高3.0	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄褐 内　暗灰黄	良	
－9	〃	〃	残存高8.7	頸部外面　押圧突帯文1条	頸部内面　指頭圧痕 〃　外面　ハケ	4㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　灰黄褐	良	
－10	〃	〃	口径22.6 残存高8.8	頸部外面　押圧突帯文1条	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　ハケ 〃　指頭圧痕 〃　外面　ハケ	〃	外　灰黄 内　淡黄	良	
－11	〃	〃	口径25.6 残存高7.0	頸部外面　押圧突帯文1条以上	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内外面　ハケ	〃	外　にぶい黄橙 内　淡黄	良	押圧突帯文剥落
第22図－1	－	弥生土器広口壷C	口径9.8 残存高4.2		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　ヘラミガキ？ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黒 内　暗灰黄	良	
－2	－	〃	口径9.8 残存高5.7		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　シボリ目 〃　外面　ハケ	〃	外　明赤褐 内　にぶい黄褐	不良	
－3	－	〃	口径10.1 残存高5.7		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　シボリ目 〃　外面　ハケ	〃	外　灰オリーブ 内　暗灰黄	良	
－4	－	〃	口径10.6 残存高5.2		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　ナデ 〃　外面　細かいハケ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外内　黄灰	良	
－5	－	〃	口径12.4 残存高6.7		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　ナデ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　灰黄	良好	
－6	－	〃	口径11.4 残存高6.3		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内外面　ハケ	〃	外　黒褐 内　黒褐	良	
－7	図版25	〃	口径11.0 残存高9.9	体部外面　櫛描直線文9条 〃　波状文4条	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部～体部内面　ナデ後ハケ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黒 内　灰黄褐	良	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第22図－8	図版24	弥生土器広口壷C	口径14.0 残存高9.0		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内外面　ヨコナデ	〃	外　灰黄褐 内　黒褐	良	
－9	－	〃	口径12.0 残存高4.3	頸部外面　押圧突帯文1条	口縁部内面　ヨコナデ 頸部内面　ヨコナデ 〃　外面　ハケ	〃	外　灰黄 内　灰白	不良	
－10	－	〃	口径9.8 残存高6.1	口縁端部　刻目文 頸部外面　櫛描直線文	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黄灰 内　灰黄	良好	
－11	－	〃	口径11.6 残存高3.5	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部外面　ハケ	〃	外　黒褐 内　灰黄	良	
－12	－	〃	口径11.5 残存高5.0	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部外面　ハケ	〃	外内　オリーブ黒	良	
－13	－	〃	口径13.0 残存高4.4	口縁端部　刻目文	口縁部内面　ヨコナデ 頸部内面　ナデ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　にぶい黄橙 内　灰黄褐	良	
－14	－	〃	口径11.6 残存高6.2	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　ナデ 〃　外面　ハケ	〃	外内　暗灰黄	良	
－15	図版24	〃	口径12.2 残存高17.3		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部～体部内面　ナデ後ハケ 〃　外面　ハケ	2㎜以下の長石、石英を含む	外　黄灰 内　にぶい黄	良好	
－16	－	〃	口径11.4 残存高3.2	口縁端部　刻目文 口縁部外面　刻目突帯文2条 頸部外面　櫛描直線文5条	口頸部内外面　ヨコナデ	〃	外　灰黄褐 内　にぶい黄褐	良	黒斑
－17	図版24	〃	口径11.4 残存高4.8	口縁端部　刻目文 口縁部外面　刻目突帯文2条 櫛描直線文	口縁部内面　ナデ	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　灰白	良	
－18	〃	〃	口径10.3 残存高8.2	口縁端部　刻目文 口縁部外面　刻目突帯文2条 頸部～体部　櫛描直線文10条 〃　波状文4条 〃　直線文	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　ナデ 〃　外面　ハケ	〃	外内　灰白	良好	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第22図－19	図版24	弥生土器広口壷C	口径12.2 残存高9.0	口縁部外面　刻目突帯文2条 頸部～体部　櫛描波状文11条 〃　直線文11条 口縁端面　斜格子文	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　粗いハケ 〃　指頭圧痕 〃　外面　ハケ	〃	外内　灰白	良好	
－20	〃	〃	口径15.6 残存高8.0	口頸部外面　押圧突帯文4条 頸部外面　棒状浮文 櫛描直線文 波状文	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　指頭圧痕 〃　ナデ 〃　外面　ハケ	〃	外　黒褐 内　褐灰	良	
第23図－1	図版28	弥生土器長頸壷	口径6.2 残存高5.2	頸部外面　櫛描直線文5条1束4回（現状）	口縁部内外面　ヨコナデ 〃　内面　指頭圧痕	3㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄褐 内　灰白	良好	
－2	－	〃	残存高5.2	頸部外面　櫛描波状文	頸部内面　シボリ目 ヘラミガキ	2㎜以下の長石、石英を含む	外　にぶい黄橙 内　灰白	良	
－3	－	〃	口径12.0 残存高6.5	口頸部外面　凹線文4条	口縁部内外面　ヨコナデ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　灰白 内　褐灰	良	
－4	図版28	弥生土器無頸壷	口径5.6 残存高3.1	口縁部外面　円形浮文	口縁部内面　指頭圧痕 〃　外面　ハケ　後ヘラミガキ	〃	外内　黒	良	
－5	〃	〃	口径9.4 残存高6.0	口縁端部　刻目文、円孔 口縁部外面　櫛描波状文 〃　直線文12条 〃　波状文12条	口縁部内外面　ヨコナデ 〃　内面　ハケ　後ナデ 〃　外面　ハケ	〃	外　黄灰 内　暗灰黄	良	
－6	図版25	〃	口径8.6 器高11.1	口縁端部　円孔	口縁部内外面　ヨコナデ 〃　内面　指頭圧痕 体部内外面　ヘラミガキ 底部内外面　ナデ	〃	外内　にぶい黄褐	良	外面煤付着
第24図－1	図版29	弥生土器壷体部	残存高3.4	体部外面　櫛描簾状文5条		1～2㎜大の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　にぶい黄橙	良	
－2	〃	〃	残存高3.6	体部外面　櫛描直線文 列点文	体部内面　ハケ 〃　外面　ハケ　後ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　灰白	良	

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第24図－3	図版29	弥生土器壷体部	残存高6.3	体部外面　櫛描直線文 〃　波状文	体部内面　ハケ	〃	外　黒褐 内　暗灰黄	良	
－4	〃	〃	残存高5.3	体部外面　櫛描直線文 〃　波状文	体部内面　指頭圧痕 〃　ハケ 〃　外面　ハケ	〃	外内　黄灰	良	
－5	〃	〃	残存高6.7	体部外面　櫛描直線文7条 〃　波状文7条	体部内外面　ハケ	〃	外　黄灰 内　黒	良	
－6	〃	〃	残存高10.2	体部外面　列点文？	体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　黄褐 内　黒	良	
－7	〃	〃	残存高6.5	体部外面　櫛描直線文 〃　波状文	体部内面　ハケ	〃	外　暗灰黄 内　黄褐	良	
－8	〃	〃	残存高10.3	体部外面　櫛描直線文 〃　波状文	体部内面　ナデ	〃	外　灰黄 内　黒	良	
－9	〃	〃	残存高6.0	体部外面　櫛描直線文11条 〃　波状文11条	頸部内面　シボリ目	〃	外　灰黄 内　灰白	良	
－10	〃	〃	残存高9.0	体部外面　櫛描直線文10条 〃　波状文10条	体部内面　指頭圧痕 〃　外面　ハケ	1～2㎜大の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　灰白	良	
－11	〃	〃	残存高6.6	体部外面　櫛描直線文9条 〃　波状文	体部外面　ハケ	〃	外　にぶい黄橙 内　褐灰	良	
－12	〃	〃	残存高7.0	体部外面　櫛描直線文 〃　波状文	体部外面　指ナデ 〃　外面　ハケ	〃	外内　黒褐	良	
－13	－	〃	残存高8.5	頸部外面　刻目突帯文1条 体部外面　櫛描直線文7条　2段 〃波状文7条	体部内面　ナデ後ハケ	2㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄褐 内　灰黄褐	良好	
－14	－	〃	残存高6.2	体部外面　櫛描直線文 〃　波状文	体部内面　シボリ目 〃　外面　ハケ	〃	外　浅黄 内　灰黄	良好	体部外面黒斑

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第25図－1	－	弥生土器壷底部	底径6.4 残存高2.4		底部内面　ヨコナデ 〃　外面　ヘラミガキ	3㎜以下の石英を多量に含む	外　褐灰 内　褐灰	良	
－2	－	〃	底径6.0 残存高3.0		底部内面　ヨコナデ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の石英を多量に含む	外内　灰白	良	
－3	－	〃	底径6.4 残存高4.0		底部内面　ハケ 〃　外面　ヘラミガキ	5㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　にぶい黄橙 内　灰黄褐	良	外面黒斑
－4	－	〃	底径7.2 残存高3.7		底部内外面　ヘラミガキ	石英、角閃石を含む	外　褐灰 内　灰白	良	
－5	－	〃	底径5.8 残存高5.3		底部内面　ヘラミガキ 〃　外面　細いヘラミガキ後下部ヨコナデ	3㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　灰白 内　灰黄	良	黒斑
－6	－	〃	底径11.0 残存高2.0		底部内面　指ナデ 〃　外面　ヘラミガキ後下部ヨコナデ	1㎜以下の石英を多量に含む	外　暗灰黄 内　黄灰	良	内外面黒斑
－7	－	〃	底径7.0 残存高5.3		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　灰白 内　褐灰	良	少々黒斑あり
－8	－	〃	底径7.8 残存高6.0		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	2㎜以下の長石、石英を多量に含む	外内　灰黄褐	良	煤付着
－9	－	〃	底径5.4 残存高4.9		底部内外面　ヘラミガキ	長石を含む	外　黒褐 内　灰白	良	
－10	－	〃	底径8.0 残存高4.5		底部内面　ヨコナデ 〃　外面　磨滅のため調整不明	2㎜以下の石英を多量に含む	外　黄灰 内　黒褐	不良	
－11	－	〃	底径7.0 残存高4.5		底部内面　ヨコナデ 〃　外面　ヘラミガキ	2㎜以下の石英を多量に含む	外　黄灰 内　黄灰	良	
－12	－	〃	底径7.0 残存高7.0		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　灰黄 内　にぶい黄	良	黒斑

挿図番号	図版番号	器種	法量(cm)	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第25図－13	－	弥生土器壷底部	底径8.0 残存高7.8		底部内面　ハケ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の石英を多量に含む	外　灰白 内　にぶい黄橙	良	黒斑
－14	－	〃	底径7.2 残存高7.0		底部内面　ヘラケズリ？後ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　暗灰黄 内　にぶい黄	良	
－15	－	〃	底径10.0 残存高5.7		底部内面　ヨコナデ 〃　外面　ヘラミガキ後下部ヨコナデ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　褐灰 内　灰白	良好	煤付着
－16	－	〃	底径8.2 残存高8.1		底部内面(上部)　ヘラミガキ 〃　外面(下部)　ハケ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰白 内　灰白	良	
－17	－	〃	底径6.3 残存高9.9		底部内面　ハケ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　黒	良	内外面に炭化物付着
－18	－	〃	底径7.6 残存高9.0		底部内面　指ナデ 〃　指頭圧痕 〃　外面　ヘラミガキ後下部ヨコナデ	〃	外　灰黄褐 内　褐灰	良	
－19	－	〃	底径10.0 残存高7.0		底部内面　指頭圧痕 〃　ヘラミガキ 〃　外面　ヘラミガキ	〃	外　暗灰黄 内　オリーブ黒	良	
－20	－	〃	底径11.8 残存高7.3		底部内面　ヘラケズリ後ヘラミガキ 〃　外面　ヘラミガキ 底面　ハケ	〃	外　にぶい黄橙 内　灰黄褐	良	黒斑
－21	－	〃	底径10.6 残存高8.3		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	2㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　灰白 内　灰黄褐	良	外面に黒斑
－22	－	〃	底径9.0 残存高16.8		底部内面（上部）ハケ 〃　（下部）ヘラミガキ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　浅黄 内　灰黄	良	黒斑
第26図－1	－	弥生土器甕A1	口径13.9 残存高7.3		体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　黒褐	良	口縁部外面煤付着
－2	－	〃	口径14.4 残存高7.5		口縁部内外面　ナデ 体部内面　ヘラミガキ	〃	外　黒 内　暗灰黄	良	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第26図－3	－	弥生土器甕Ａ１	口径16.0 残存高4.7		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　にぶい黄褐 内　黒褐	良	
－4	－	〃	口径16.8 残存高4.8		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内外面　ヘラミガキ	〃	外　黒 内　にぶい黄橙	良	外表面に炭化物付着
－5	－	〃	口径17.2 残存高3.3		口縁部内面　ヨコミガキ 体部〃　ヘラミガキ 〃　外面　磨滅の為調整不明	〃	外　黒 内　黒褐	良	
－6	図版25	〃	口径17.8 器高30.1	体部中央外面　半截竹管文２条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　指頭圧痕 〃　ヘラミガキ 〃　外面(上半部)　ハケ 〃　(下半部)　ヘラミガキ	〃	外　黒褐 内　暗灰黄	良好	完形外部煤付着
－7	－	〃	口径18.6 残存高5.7		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　にぶい黄褐 内　灰黄褐	良	体部外面煤付着
－8	－	〃	口径18.8 残存高4.4		口縁部内外面　ナデ 体部外面　ハケ	〃	外内　にぶい黄褐	不良	
－9	－	〃	口径18.0 残存高4.9		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外内　にぶい黄橙	良	
－10	－	〃	口径19.0 残存高6.6		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ	１mm以下の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　黒	良	口縁部外面 体部外面煤付着
－11	－	〃	口径19.0 残存高5.0		口縁部外面　ナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	１mm以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　灰黄褐	良	
－12	－	〃	口径19.0 残存高8.4	体部中央外面　半截竹管文２条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部外面　ハケ	〃	外　にぶい黄橙 内　にぶい黄橙	良	外面に煤付着
－13	－	〃	口径19.2 残存高11.5	体部外面　列点文１条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ後ハケ 〃　外面　ハケ	〃	外　灰黄褐 内　にぶい黄橙	良好	外面煤付着
－14	－	〃	口径19.0 残存高7.7		口縁部内面　ナデ後ハケ 〃　外面　ナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　にぶい黄褐 内　暗灰黄	良	黒斑

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第27図－1	図版31	弥生土器甕A1	口径20.2 残存高2.7	口縁端部　凹線文1条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　指頭圧痕 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　灰黄褐	良好	
－2	〃	〃	口径20.4 残存高7.3	口縁端部　凹線文1条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外内　黒褐	良	外面に煤付着
－3	〃	〃	口径20.3 残存高5.4		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄褐 内　灰黄褐	良好	煤付着
－4	－	〃	口径21.1 残存高6.2		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　暗赤褐 内　黒褐	良	
－5	図版31	〃	口径20.6 残存高6.0		口縁部外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　灰黄褐	良	外面全体煤付着
－6	〃	〃	口径20.2 残存高29.6	体部中央外面　列点文1条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面(上部)　ハケ 〃　(下部)　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　暗灰黄 内　にぶい黄褐	良	体部外面煤付着
－7	〃	〃	口径21.0 残存高6.2		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ナデ後ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　暗灰黄 内　暗灰黄	良	
－8	〃	〃	口径22.6 残存高7.7		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　指頭圧痕 〃　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　にぶい黄褐 内　褐	良	内外面黒斑
－9	〃	〃	口径22.2 残存高7.3		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　暗灰黄 内　黄褐	良	煤付着
－10	〃	〃	口径23.2 残存高7.2		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　にぶい黄褐 内　灰黄褐	良	煤付着 黒斑
－11	〃	〃	口径24.0 残存高5.5		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　にぶい黄 内　灰黄	良	
－12	〃	〃	口径30.2 残存高5.1		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　にぶい黄 内　灰黄	良	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第27図－13	図版31	弥生土器甕Ａ１	口径29.6 残存高8.9		口縁部内外面　ヨコナデ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ 体部外面　ハケ	〃	外　灰黄褐 内　にぶい黄褐	良	
－14	〃	〃	口径30.3 残存高6.6		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ナデ後ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外内　にぶい黄褐	良	
第28図－１	図版30	弥生土器甕Ａ２	口径12.4 残存高9.4		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	１㎜以下の長石、石英を含む	外内　灰黄褐	良好	体部外面に炭化物付着
－２	－	〃	口径13.0 残存高7.5		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　にぶい褐 内　黒	良	煤付着
－３	図版30	〃	口径15.2 残存高7.5		体部内外面　ヘラミガキ	１㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　灰白 内　灰黄	良	外面全体内面上部黒斑
－４	〃	〃	口径16.0 残存高7.8		口縁部外面　ヨコナデ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ 体部外面　ハケ後ヘラミガキ	１㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　灰褐	良	黒斑
－５	〃	〃	口径16.2 残存高4.0		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　黒褐 内　にぶい黄褐	良	
－６	〃	〃	口径16.8 残存高5.1		体部内面　ナデ後ヘラミガキ 〃　外面　磨滅の為調整不明	〃	外内　灰黄褐	不良	
－７	〃	〃	口径17.0 残存高7.5		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面(上半部)　ヨコ方向ヘラミガキ 〃　(下半部)　タテ　〃 〃　外面　ハケ	〃	外内　暗褐	良	口縁部外面、体部外面煤付着
－８	〃	〃	口径17.8 残存高6.7		口縁部内面　ハケ 体部〃　ヘラミガキ	〃	外　にぶい黄褐 内　オリーブ褐	良	煤付着
－９	〃	〃	口径18.2 残存高4.5		口縁部内外面　ヨコナデ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ 体部外面　ハケ	〃	外　黒 内　暗灰黄	良	
－10	〃	〃	口径18.0 残存高8.2		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外内　灰黄	良	

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第28図－11	図版30	弥生土器甕Ａ２	口径18.6 残存高4.7		口縁部内外面　ヨコナデ 体部外面　ハケ	〃	外　灰白 内　浅黄橙	良	
－12	－	〃	口径18.2 残存高6.8		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ハケ後ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　灰黄褐 内　黄灰	良	
－13	図版30	〃	口径19.4 残存高9.3	体部外面　櫛描列点文	口縁部内外面　ヨコナデ 〃　外面　指頭圧痕 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外内　灰黄褐	良好	体部外面に炭化物付着
－14	〃	〃	口径19.0 残存高12.6	体部外面　櫛描列点文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面(上半部)　ヨコ方向ヘラミガキ 〃　(下半部)　タテ〃 〃　外面(上半部)　ハケ 〃　(下半部)　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　にぶい黄橙	不良	体部内外面黒斑
－15	〃	〃	口径19.2 残存高9.0		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　黒褐 内　にぶい黄褐	良	全体に煤付着
第29図－1	－	〃	口径20.2 残存高7.5		口縁部外面　ヨコナデ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ 体部外面　ハケ後ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄 内　黄灰	良	
－2	－	〃	口径20.8 残存高9.3		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面(上部)　ハケ後ヘラミガキ 〃　(下部)　粗いヘラミガキ 〃　外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　黄灰	良	煤付着
－3	－	〃	口径20.8 残存高13.5	口縁端部　刻目文 体部外面　列点文	口縁部内面　ヘラミガキ 体部　〃　指頭圧痕後ハケ後ヘラミガキ 〃　外面　ハケ後ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄褐 内　にぶい黄橙	良好	
－4	－	〃	口径21.6 残存高13.5	体部外面　列点文	口縁部外面　ヨコナデ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ 体部外面　ハケ後ヘラミガキ	〃	外　黒 内　灰黄褐	良好	
－5	－	〃	口径22.2 残存高11.5		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外内　灰黄	良	煤付着

挿図番号	図版番号	器種	法量(cm)	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第29図－6	－	弥生土器甕A 2	口径23.0 残存高5.0		口縁部内外面　ヨコナデ 体部外面　ハケ	2㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　明褐灰 内　にぶい褐	良	
－7	－	〃	口径24.3 残存高5.6		口縁部内外面　ヨコナデ 体部外面　ハケ	〃	外内　黒褐	良	
－8	－	〃	口径24.0 残存高6.9		口縁部外面　ヨコナデ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ 体部外面　ハケ	〃	外　灰褐 内　褐灰	良好	
－9	－	〃	口径24.8 残存高4.5		口縁部内外面　ヨコナデ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ 体部外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　暗褐	良	
－10	－	〃	口径24.8 残存高12.5	体部外面　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　指頭圧痕 〃　ヘラミガキ 〃　外面(上半部)ハケ 〃　(下半部)ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　灰黄褐	良好	内外面煤付着
－11	－	〃	口径26.2 残存高9.8		口縁部内外面　ヨコナデ 体部外面　ハケ	〃	外　灰黄褐 内　黒	良	
－12	－	〃	口径27.8 残存高15.2	体部外面　刺突文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面(上半部)ハケ 〃　(下半部)ヘラミガキ	〃	外内　にぶい黄橙	良	
第30図－1	図版32	弥生土器甕B	口径13.0 残存高4.7		口縁部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ヨコナデ 体部外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　暗灰黄 内　灰黄	良好	
－2	〃	〃	口径14.9 残存高3.1		口縁部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　褐灰 内　灰白	不良	
－3	－	〃	口径14.7 残存高2.0	口縁端部　擬凹線1条	口縁部内外面　ヨコナデ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外内　にぶい橙	良	
－4	図版32	〃	口径11.5 残存高9.0		体部内外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　にぶい黄橙	良	黒斑 煤付着
－5	〃	〃	口径11.2 残存高9.1		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　磨滅の為調整不明 〃　外面　ハケ後ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外内　灰黄褐	良	外面に黒斑

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第30図－6	図版32	弥生土器甕B	口径15.9 残存高4.5		体部内外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰白 内　灰黄	不良	煤付着？
－7	〃	〃	口径13.5 残存高6.3		口縁部内面　ヘラミガキ 口縁部～体部外面(上部)　ハケ 体部内面　シボリ目 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黒 内　黄褐	良	
－8	〃	〃	口径15.7 残存高6.1		口縁部～体部内面(上部)　ヘラミガキ 体部内面　ナデ 〃　外面　ハケ後ヘラミガキ	〃	外内　オリーブ黒	良	
－9	〃	〃	口径16.6 残存高5.0		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ	〃	外内　灰白	良	
－10	〃	〃	口径18.6 残存高4.0		口縁部内外面　ナデ 体部内面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄 内　灰黄褐	良	黒斑
－11	〃	〃	口径15.3 残存高7.0		口縁部内面　ハケ 〃　外面　ヨコナデ 体部内面　ナデ 〃　外面　ハケ	〃	外　黒 内　灰黄褐	良	
－12	－	〃	口径16.3 残存高8.0		体部内面　ハケ後粗いヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　褐灰 内　灰黄褐	良	
－13	－	〃	口径21.0 残存高1.7	口縁端部　擬凹線1条	口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外内　灰白	良	
－14	－	〃	口径24.1 残存高1.8		口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外　褐灰 内　褐灰	良	
－15	図版32	〃	口径16.5 残存高1.8	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外　オリーブ黒 内　暗灰黄	良	
－16	〃	〃	口径15.5 残存高5.1	口縁端部　刻目文	体部内面　ハケ	〃	外　暗灰黄 内　黄灰	良	
－17	〃	〃	口径16.7 残存高6.7	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ナデ 体部外面　ハケ後ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外内　黒	良	

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第30図－18	図版32	弥生土器甕B	口径18.9 残存高6.3	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ナデ	〃	外　黒褐 内　黄褐	良	煤付着
－19	－	〃	口径24.3 残存高1.9	口縁端部　刻目文	口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外内　黒	良	口縁部1／12片以下
第31図－1	－	弥生土器甕A底部	底径6.2 残存高3.0		底部内面　ナデ 〃　外面　磨滅の為調整不明	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　黒	良	端部赤変
－2	－	〃	底径5.0 残存高4.0		底部外面　ヨコナデ 〃　ヘラミガキ	1～2㎜大の長石、石英を多量に含む	外　灰黄 内　黄灰	良	
－3	－	〃	底径8.0 残存高3.9		底部内外面　ナデ	〃	外　にぶい黄褐 内　黒	良	底部外面赤変
－4	－	〃	底径5.3 残存高4.4		底部内外面　磨滅の為調整不明	〃	外　灰白 内　にぶい黄橙	不良	
－5	－	〃	底径5.8 残存高5.1		底部内面　ナデ 〃　外面　粗いヘラミガキ	〃	外　褐灰 内　褐灰	良	
－6	－	〃	底径5.0 残存高5.0		底部内面　ナデ 〃　内外面　ヘラミガキ	〃	外　灰黄褐 内　褐灰	良	
－7	－	〃	底径5.7 残存高4.0		底部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ナデ	〃	外　灰黄褐 内　灰黄褐	良好	煤付着
－8	－	〃	底径6.4 残存高4.6		底部外面　ナデ後ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　褐 内　黒褐	良	
－9	－	〃	底径7.0 残存高3.5		底部内外面　ヨコナデ 〃　外面　ヘラミガキ	1～2㎜大の長石、石英を多量に含む	外　にぶい黄褐 内　にぶい黄橙	良	煤付着
－10	－	〃	底径6.4 残存高5.0		底部内外面　ヘラミガキ	〃	外　灰黄褐 内　黒褐	良好	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第31図－11	－	弥生土器甕Ａ底部	底径6.6 残存高4.7		底部内外面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	〃	外　暗灰黄 内　黒褐	良	内面にこげが残る 外面煤付着底面端部に赤変が残る 底部外面に赤色顔料を塗布
－12	－	〃	底径5.2 残存高5.8		底部外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　暗灰黄 内　黒褐	良	
－13	－	〃	底径5.6 残存高6.4		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	〃	外　灰白 内　灰黄褐	良	内面煤付着 外面黒斑
－14	－	〃	底径6.8 残存高5.7		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	〃	外　灰黄褐 内　黒褐	良	
－15	－	〃	底径6.6 残存高6.5		底部内面　ナデ 〃　内外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　にぶい黄褐 内　黒	良	煤付着
－16	－	〃	底径6.7 残存高7.0		底部内面　ハケ 〃　内外面　ヘラミガキ	〃	外　にぶい黄褐 内　黒褐	良	
－17	－	〃	底径7.2 残存高6.7		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄褐 内　黒褐	良	
－18	－	〃	底径6.9 残存高6.8		底部内外面　ヘラミガキ	〃	外　灰黄褐 内　黒褐	良	内外面黒斑
－19	－	〃	底径6.0 残存高9.7		底部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　にぶい黄橙 内　黒	良	
－20	－	〃	底径6.2 残存高3.0		底部内面　ヨコナデ 〃　外面　ヘラミガキ	〃	外　灰白 内　灰	良	
－21	－	〃	底径6.2 残存高4.2		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	〃	外　暗灰黄 内　黒褐	良	内面にこげが残る

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第31図－22	－	弥生土器甕A底部	底径6.9 残存高3.5		底部外面　ヘラミガキ	〃	外　灰黄 内　オリーブ黒	良	
－23	－	〃	底径6.0 残存高4.3		底部内面　ナデ 〃　内外面　ヘラミガキ	〃	外　黒 内　黒褐	良好	
－24	－	〃	底径6.8 残存高4.8		底部内外面　ヘラミガキ 〃　外面　ヨコナデ	〃	外　黒褐 内　黒	良	内面に多量の炭化物付着
－25	－	〃	底径6.0 残存高5.5		底部内面　指ナデ？ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　明褐灰 内　黒褐	良	
－26	－	〃	底径6.2 残存高5.9		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　にぶい黄橙 内　黒褐	良	全体に煤付着
－27	－	〃	底径7.0 残存高5.5		底部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ヘラミガキ後下部ヨコナデ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　灰黄褐 内　黒	良	
－28	－	〃	底径6.0 残存高6.0		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ後下部ヨコナデ	〃	外　灰黄 内　灰白	良	
－29	－	〃	底径5.4 残存高6.3		底部内面　ナデ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　褐灰 内　灰黄褐	良	
－30	－	〃	底径5.8 残存高9.5		底部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ヘラミガキ後下部ヨコナデ	〃	外内　暗灰黄	良	
－31	－	〃	底径5.2 残存高9.4		底部内面　ヘラ削り後ヘラミガキ 〃　外面　ヘラミガキ	〃	外　暗褐 内　褐灰	良	
－32	－	〃	底径5.5 残存高13.9		底部内外面　ヨコナデ	〃	外　黄灰 内　黄灰	不良	外面は火による剥落？
－33	－	〃	底径6.4 残存高4.0		底部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ヘラミガキ後下部ヨコナデ	1～2㎜大の長石、石英を多量に含む	外　灰黄褐 内　黒	良	煤付着 底部に穿孔

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第31図－34	－	弥生土器甕A底部	底径7.2 残存高3.2		底部外面　ヘラミガキ後下部ヨコナデ	〃	外内　灰黄	良	穿孔
第32図－1	－	弥生土器高坏	口径16.2 残存高3.4		口縁部内外面　ヨコナデ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黄灰 内　灰黄	不良	
－2	－	〃	口径20.4 残存高5.0		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ハケ 〃　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黒 内　浅黄	良	外面煤付着
－3	図版28	〃	口径24.4 残存高4.9	口縁部　円孔	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ナデ 〃　外面　ハケ	〃	外　灰黄 内　灰黄	良	
－4	〃	〃	口径20.3 残存高4.8		口縁部外面　ヨコナデ後ハケ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ 体部外面　ヘラミガキ	〃	外内　にぶい黄橙	良	
－5	〃	〃	残存高6.4		体部内外面　ヘラミガキ 柱状部外面　ナデ	〃	外　にぶい黄橙 内　暗黄灰	良	
－6	図版26	〃	底径14.0 残存高11.8	柱状部外面　押圧突帯文1条	柱状部内面　シボリ目 裾部　ヘラミガキ 脚部外面　ハケ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外内　灰白	良	
－7	－	弥生土器甕B底部	底径8.3 残存高2.6	底部　円孔2孔1対	底部内外面　ナデ	1～2㎜大の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　褐灰	良	
－8	－	〃	底径7.7 残存高4.7		底部内面　ヘラケズリ 〃　外面　ヘラケズリ？後ヨコナデ	〃	外　明灰黄 内　灰黄	良	
－9	－	〃	底径7.2 残存高4.8		底部内外面　ヘラミガキ	〃	外　灰黄 内　浅黄	良	
－10	－	〃	底径9.2 残存高4.0		底部内面　ヘラミガキ 〃　外面　ナデ後ヘラミガキ	〃	外　灰黄 内　暗灰黄	良	黒斑
－11	－	〃	底径8.9 残存高4.9		底部内外面　ヘラミガキ	〃	外　暗灰黄 内　灰	良	黒斑

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第32図－12	－	弥生土器甕B底部	底径7.8 残存高5.3	底部外面　対向する円孔2孔1対	底部外面　ヘラミガキ	〃	外　黒 内　灰白	良	
第33図－1	図版28	弥生土器鉢	口径15.9 残存高2.5	口縁部　円孔2孔1対 体部外面　櫛描直線文 〃　〃　波状文	体部内面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄褐 内　にぶい黄褐	良好	
－2	〃	〃	口径16.4 残存高4.0	体部外面　櫛描波状文7条	体部内面　ヘラミガキ	〃	外内　暗灰黄	良	
－3	〃	〃	口径18.4 残存高9.8	体部外面　櫛描直線文 〃　〃　波状文 〃　刺突文	体部内面　ヘラミガキ	〃	外　黒 内　黒褐	良	
－4	〃	〃	口径17.1 残存高7.2	口縁部外面　円孔1孔残存 体部外面　櫛描波状文 〃　〃　直線文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ハケ後ヨコナデ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　にぶい黄橙 内　灰黄褐	良	
－5	〃	〃	口径18.0 残存高5.9	体部外面　櫛描波状文 〃　〃　直線文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ナデ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　灰黄褐 内　〃	良	
－6	〃	〃	口径18.0 残存高4.0	口縁端部　刻目文 体部外面　櫛描波状文8条 〃　櫛描直線文8条	口縁部内外面　ナデ 体部内面　ヘラミガキ	〃	外内　黒	良	口縁部1／12片以下
－7	〃	〃	口径20.4 残存高4.2	体部外面　ヘラ描直線文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ	〃	外　黄灰 内　暗灰黄	良	黒斑
－8	〃	〃	口径20.0 残存高6.1	口縁部　円孔2孔1対 体部外面　櫛描波状文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部　〃　ハケ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　灰黄褐	良好	
－9	〃	〃	口径19.6 残存高8.5	口縁部外面　円孔2孔1対 体部〃　櫛描波状文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ナデ	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　橙	良	
－10	〃	〃	残存高8.2	体部外面　櫛描波状文 〃　〃　直線文 〃　列点文	体部外面　ハケ 〃内外面(下部)　ヘラミガキ	〃	外内　灰黄褐	良	
－11	図版26	〃	口径16.4 残存高12.8	口縁部外面　櫛描直線文 〃　円孔2孔1対 体部〃　櫛描波状文	体部内面　ナデ後ヘラミガキ 〃　外面　ハケ	〃	外　黒 内　黒褐	良	体部外面煤付着

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第33図－12	図版28	弥生土器鉢	口径20.0 残存高5.8	口縁部外面　櫛描直線文7条 体部〃　〃　波状文	口縁部内外面　ヨコナデ 口縁部～体部内面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黒 内　黒褐	良好	外面に煤付着
－13	〃	〃	口径20.9 残存高7.9	体部外面　櫛描波状文7条 〃　〃　直線文8条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　黒	良	
－14	図版26	〃	口径19.4 残存高12.0	口縁端部　刻目文 口縁部　円孔 体部外面　櫛描波状文8条 〃　〃　直線文12条	体部内面　ヘラミガキ 〃　外面（上部）　ハケ 〃（下部）　ヘラミガキ	〃	外　黒褐 内　黄灰	良好	
－15	〃	〃	口径20.2 残存高19.0	口縁端部　刻目文 体部外面　櫛描波状文 〃　〃　直線文	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　指頭圧痕 〃　ハケ 〃　外面　ハケ後ヘラミガキ横	1㎜以下の長石、石英を多量に含む状	外内　にぶい黄橙	良好	体部外面黒斑
第34図－1	－	弥生土器鉢底部	底径10.2 残存高3.2	底部外面　円孔2孔1対	底部内外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外内　浅黄	良	
－2	－	〃	底径12.0 残存高2.9		底部内面　指頭圧痕 〃　外面　ヘラミガキ	〃	外　灰白 内　灰白	良	煤付着
－3	－	〃	底径12.2 残存高6.4		底部内外面　ヘラミガキ	2㎜以下の長石、石英を多量に含む	外内　暗灰黄	良	底部外面煤付着
－4	－	〃	底径11.2 残存高4.8		底部内面　ハケ 〃　外面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　灰黄褐	良好	外面全体に煤付着
－5	図版26	〃	底径12.4 残存高6.0		底部内面　ナデ後ヘラミガキ 〃　外面　ヘラミガキ	3㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　黒褐 内　黄褐	良	外面が赤変
－6	－	〃	底径13.2 残存高5.1	円孔	底部内面　ヘラミガキ 〃　外面　磨滅の為調整不明	1㎜以下の長石、石英を含む	外　明赤褐 内　灰黄	良	円孔
－7	図版26	〃	底径12.4 残存高7.6		底部外面　ナデ後ヘラミガキ	〃	外　灰黄 内　黄灰	良	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第34図－8	－	弥生土器鉢底部	底径16.8 残存高5.6		底部内外面　ナデ 〃　内面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を多量に含む	外　にぶい黄橙 内　灰白	不良	黒斑
第43図－1	－	紡錘車	外径　縦3.9×横4.2		裏面　ヘラミガキ	1㎜以下の長石、石英を含む	表　黒褐 裏　浅黄	良	土器片利用
－2	－	〃	外径　縦4.2×横3.3		裏面　ヘラミガキ	〃	表　灰白 裏　淡黄	良	
－3	－	〃	外径　縦3.2×横3.4 孔径　0.4			1㎜以下の長石、石英を多量に含む	表　暗灰黄 裏　黄灰	良	
－4	－	〃	外径　縦4.2×横4.7 孔径　0.6			1㎜以下の長石、石英を含む	表裏　灰黄	良好	
－5	－	〃	外径　縦5.8×横5.1 孔径　0.4		表面　ヘラミガキ	〃	表　灰黄 裏　暗灰黄	良	土器片利用
第80図－1	図版59	弥生土器細頸壷	底径3.0 残存高10.5		体部～底部内面　指頭圧痕 〃　ナデ	2㎜以下の長石、石英角閃石を多量に含む	外　明黄褐 内　黒	良	
－2	〃	弥生土器広口壷	口径16.2 残存高5.0		口頸部内外面　ヨコナデ	〃	外内　褐	良	
－3	〃	〃	口径15.6 残存高5.2		口頸部内外面　磨滅の為調整不明	〃	外内　褐	良	
－4	〃	〃	口径20.6 残存高7.5		口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　シボリ目	〃	外　明褐 内　褐	良好	全面に磨滅が著しい
－5	〃	〃	口径17.6 残存高18.5	口縁部内面　擬凹線4条	口縁部内外面　ヨコナデ 頸部内面　シボリ目 体部　〃　指頭圧痕	〃	外内　褐	良	
－6	〃	弥生土器甕	口径14.8 残存高4.3		磨滅の為調整不明	〃	外内　明褐	良	

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第80図－7	図版59	弥生土器甕	口径18.0 残存高2.5		磨滅の為調整不明	〃	外 橙 内 にぶい橙	良	
－8	〃	〃	口径16.4 残存高5.2		口縁部内外面 ヨコナデ 体部内面 指ナデ 〃 外面 磨滅の為調整不明	〃	外 にぶい黄橙 内 にぶい黄橙	良	
－9	〃	弥生土器鉢	口径31.2 残存高4.7		口縁部内外面 ヨコナデ	〃	外内 にぶい黄橙	良	口縁部に片口
－10	－	弥生土器鉢底部	底径2.0 残存高2.1		底部内面 ナデ 〃 外面 磨滅の為調整不明	〃	外 明黄褐 内 灰白	良	
－11	－	〃	底径2.6 残存高2.5		底部内外面 ヨコナデ	〃	外内 浅黄	良好	黒斑
－12	－	〃	底径2.0 残存高2.4		底部外面 板ナデ 〃 指ナデ	〃	外 黄褐 内 灰白	良	
－13	－	〃	底径3.1 残存高3.8		磨滅の為調整不明	〃	外 黄褐 内 灰白	良	
－14	－	〃	底径2.0 残存高4.3		磨滅の為調整不明	〃	外 明赤褐 内 黄灰	良	
－15	－	〃	底径6.0 残存高2.0		底部内面 指頭圧痕 〃 外面 タタキ	2㎜以下の長石、石英を含む	外 灰白 内 褐灰	良	黒斑
－16	－	〃	底径2.6 残存高4.6		底部外面 タタキ	〃	外 灰白 内 灰白	良	
－17	図版59	弥生土器鉢	口径48.8 残存高8.0	口縁部内面 擬凹線4条	口縁部内外面 磨滅の為調整不明（ヨコナデ？）	2㎜以下の長石、石英角閃石を多量に含む	外内 橙	良	

ＳＤ０１　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第84図－1	図版60	須恵器 坏蓋	口径15.0 残存高2.5		口縁部内外面　ナデ 天井部外面　ヘラケズリ後ナデ	1㎜以下の長石、石英を多く含む	外　灰 内　オリーブ灰	良好	黒斑
－2	－	〃	口径16.0 残存高1.1		口縁部内外面　ナデ	〃	外　灰 内　灰白	良	
－3	図版60	須恵器 皿	口径15.0 残存高1.4			密	外　灰 内　灰白	良好	
－4	〃	〃	底径11.4 残存高1.4		口縁部内外面　ヨコナデ 底部外面　ヘラ切り後ナデ	1㎜以下の長石、石英を若干含む	外　灰白 内　にぶい黄橙	良	
－5	〃	須恵器 坏身	口径20.0 残存高3.6		口縁部内外面　ヨコナデ	1㎜以下の長石、石英を多く含む	外　灰 内　灰	良	
－6	〃	〃	底径6.0 残存高1.0		底部内外面　ヨコナデ	1～3㎜大の長石、石英を多量に含む	外内　黄灰	良	
－7	〃	須恵器 皿	口径7.0 残存高0.9		口縁部内外面　ヨコナデ 底部外面　ヘラ切り後ヨコナデ	1㎜以下の砂粒を多く含む	外内　灰白	良	
－8	〃	須恵器 坏	底径7.4 残存高1.8		口縁部内外面　ヨコナデ 底部外面　ヘラ削り	〃	外　灰 内　灰	良好	
－9	〃	須恵器 椀	底径5.0 残存高2.3		口縁部内外面　ヨコナデ 底部内面　ハケ 〃　外面　ナデ	1㎜以下の砂粒を多く含む	外内　灰白	良	
－10	〃	土師器 土釜 脚	－		脚部　ナデ	1～2㎜大の長石、石英を多量に含む	外　灰白	良	

調査区西端包含層出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第85図－1	図版60	須恵器 坏	底径8.0 残存高0.6			1㎜以下の長石、石英を含む	外内　灰白	良	

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第85図－2	－	須恵器坏	底径8.0 残存高1.2		底部内外面　ヨコナデ	〃	外　にぶい黄橙 内　明黄褐	良	
－3	－	〃	底径7.0 残存高1.3		体部内外面　ヨコナデ 底部外面　ヘラ切り	〃	外内　灰白	良	
－4	－	〃	底径10.0 残存高1.4			〃	外　灰 内　灰白	良	
－5	－	〃	口径11.9 残存高1.6			〃	外　灰 内　灰白	良	
－6	図版60	須恵器坏身	口径15.6 残存高2.2			〃	外　灰白 内　灰	良	
－7	－	須恵器坏？	口径16.0 残存高1.4			密（精良）	外内　灰白	良	
－8	図版60	須恵器皿	口径14.0 底径11.0 残存高1.8		口縁部内外面　ヨコナデ 底部外面　ヘラ切り後ナデ	1～2㎜大の砂粒を多く含む	外　明紫灰 内　明赤灰	良好	
－9	〃	〃	底径10.2 残存高1.2			1㎜以下の砂粒を多量に含む	外　灰 内　灰	良	火だすき
－10	〃	須恵器壺	－		頸部内外面　ヨコナデ	〃	外　灰白 内　オリーブ灰	良	
－11	〃	〃	底径8.0 残存高3.0		底部内外面　ヨコナデ	1～2㎜大の砂粒を含む	外内　灰	良	
－12	－	須恵器高坏	口径10.0 残存高1.0		脚部内外面　ヨコナデ	1㎜以下の砂粒を含む	外内　オリーブ灰	良	
－13	図版60	須恵器甕	口径27.2 残存高4.5		口縁部内外面　ナデ	1～2㎜大の砂粒を多く含む	外内　灰	良好	

ＳＫ０２　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第92図	－	染付磁器小盃	底径2.6 残存高2.4		体部　施釉		外内　白	良好	

ＳＫ０４　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第96図－１	図版61	備前焼蓋	口径16.1 残存高1.6			１～２㎜大の砂粒を含む	外　暗赤褐 内　黒褐	良	
－２	－	陶器擂鉢	口径29.0 残存高5.0		体部内面　卸目　10条１単位	〃	外　明赤褐 内　赤褐	良好	
－３	図版61	〃	底径12.6 残存高12.3		体部内面　卸目　16条１単位	〃	外内　橙	良好	

ＳＫ０７　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第98図	図版61	染付磁器猪口	口径6.4 底径3.2 器高4.5	体部外面　圏線２条	体部　施釉		外内　淡灰白	良好	

ＳＫ０８　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第100図－１	－	陶器碗	底径5.6 残存高1.0			１㎜以下の石英を多量に含む	外　灰白 内　にぶい黄橙	良	
－２	－	肥前系陶器碗	底径4.2 残存高5.1		体部内面　ロクロ回転を利用した刷毛目 〃　外面　ロクロ回転を利用した波状刷毛目	密	外　黒 内　にぶい褐	良好	
－３	図版61	瓦質土器焙烙	口径32.7 残存高6.2		体部内面　ハケ 〃　外面　ナデ 〃　指頭圧痕	１㎜以下の石英を含む	外　黒 内　灰	良	
－４	〃	瓦質土器焙烙	口径38.0 残存高7.0	口縁部内面　相対する内耳２孔１対	口縁部内面　ナデ 体部外面　指頭圧痕 底部〃　ハケ		外　灰 内　灰	良	

ＳＫ１０　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第101図	－	肥前系陶器　鉢	口径31.2 残存高2.4		体部　施釉		外内　にぶい赤褐	良好	

ＳＫ１１　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第103図－１	－	肥前系染付磁器碗	口径9.7 残存高4.6	体部外面　染付	内外面　施釉	密	断　灰白	良好	
－２	－	〃	口径10.0 残存高4.0	体部外面　染付	内外面　施釉	〃	断　灰白	良好	
－３	－	肥前系染付磁器碗	底径7.6 残存高2.0	内面見込　ねじれ花文様	体部内外面　施釉 高台畳付　砂目積	〃	断　灰白	良好	
－４	図版61	肥前系陶器皿	底径4.6 残存高3.4		体部内外面　施釉 内面見込　蛇ノ目釉剥ぎ	〃	外　灰白 内　灰白	良好	

ＳＫ１３　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第104図	－	陶器擂鉢	底径18.0 残存高7.2	体部内面　卸目	体部内外面　ヨコナデ	１㎜以下の石英を多量に含む	外内　褐灰	良好	

ＳＫ１６　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第106図－１	－	陶器壺	底径5.7 残存高3.8		底部内外面　ヨコナデ 施釉	密	断　灰色	良好	
－２	－	土師器皿	口径10.4 残存高1.5		口縁部内外面　ヨコナデ	１㎜以下の砂粒を含む	外　浅黄橙 内　浅黄橙	良	

ＳＫ１７　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第107図－１	－	瓦質土器焙烙	口径31.2 残存高4.4		口縁部内外面　ヨコナデ	１㎜以下の石英を含む	外　黒褐 内　灰黄	良	煤付着
－２	－	瀬戸美濃系陶器碗	口径10.4 残存高5.3	体部外面　ヘラ描直線文１条	口縁部内外面　ヨコナデ	１㎜以下の砂粒を多く含む	断　淡黄	良好	

ＳＫ２６　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第109図	－	瀬戸美濃系陶器碗	底径5.0 残存高4.3		体部内外面　施釉	１㎜以下の砂粒を多く含む	外内　淡灰黄	良好	

ＳＫ２８　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第111図	－	土師器焙烙	口径34.6 残存高3.6		体部内面　ハケ	１㎜以下の長石、石英を含む	外　褐 内　暗灰黄	良	外面煤付着

ＳＫ２９・３０　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第113図－１	－	肥前系染付磁器碗	残存高4.2	体部外面　染付	体部外面　施釉	密	内　褐 断　灰	良好	貫入が著しい
－２	－	肥前系染付磁器碗	口径5.0 残存高4.0	体部外面　唐草文？	体部内外面　施釉 高台畳付　無釉	〃	断　灰白	良好	貫入が著しい
－３	－	肥前系陶器碗	底径4.8 残存高2.7		内面　ロクロ利用による刷毛目 外面　ロクロ利用による波状刷毛目 高台畳付　離れ砂	〃	断　赤灰	良好	
－４	－	〃	口径8.4 残存高4.5		内面　ロクロ利用による刷毛目 外面　ロクロ利用による波状刷毛目	〃	断　灰	良好	
－５	－	〃	底径4.4 残存高3.0		内面　打刷毛目 〃　ロクロ利用による波状刷毛目 高台畳付　離れ砂	〃	断　赤橙	良好	

ＳＫ２９・３０　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第113図－６	－	陶器 皿	底径2.4 残存高1.8		底部外面　回転糸切り	〃	外　にぶい橙 内　にぶい橙	良	
－７	－	染付磁器 碗	口径9.0 残存高4.0	口縁部外面　雨降り文	内外面　施釉	〃	断　灰白	良好	

ＳＥ０１　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第114図－１	－	染付磁器 碗	底径4.0 残存高3.6	体部外面　染付	体部　施釉	密	断　灰白	良	
－２	－	染付磁器 皿	底径6.4 残存高2.7	内面見込　染付	体部　施釉	〃	断　灰白	良好	
－３	－	陶器 皿	底径4.6 残存高2.8		体部内面　見込蛇ノ目釉剥ぎ	〃	外内　灰白	良好	
－４	－	染付磁器 皿	底径6.0 残存高1.8	内面見込　染付		〃	断　灰白	良好	
－５	図版61	〃	口径12.2 底径7.0 残存高2.4	体部内外面　染付		〃	断　灰白	良好	
－６	－	陶器 碗	底径5.0 残存高3.2		体部　施釉	１mm以下の砂粒を多く含む	断　灰白	良	
－７	－	染付磁器 碗	底径7.0 残存高2.0		体部　施釉	密	断　灰白	良	
－８	－	染付磁器 壺	底径6.0 残存高2.5		体部　施釉	〃	外　明黄灰 断　灰白	良好	
－９	－	肥前系 陶器 碗	底径4.5 残存高5.4		内面　打刷毛目 外面　ロクロ利用による波状刷毛目 高台畳付　砂熔着	〃	断　灰	良好	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第114図－10	－	肥前系陶器碗	底径4.4 残存高2.5		内外面　ロクロ利用による刷毛目 高台畳付　砂熔着	〃	断　赤橙	良好	
－11	－	〃	底径4.8 残存高3.3		内面　打刷毛目 外面　ロクロ利用による波状刷毛目	〃	断　赤褐	良	
－12	－	瀬戸美濃系掛け分け碗	底径4.2 残存高1.2		体部外面　鉄釉施釉	1mm以下の砂粒を多く含む	断　灰白	良	
－13	－	肥前系刷毛目皿	底径12.2 残存高4.4		内面見込　波状刷毛目 砂・胎土目積	〃	外断　赤褐	良好	
－14	－	〃	底径11.0 残存高4.7		内面見込　ロクロ利用による刷毛目 砂・胎土目積	〃	外　にぶい赤褐 断　灰白	良好	
－15	－	陶器蓋	底径4.6 器高3.2	口縁部外面　凹線2条		〃	外　灰赤 内　赤灰	良好	
－16	－	陶器擂鉢	口径31.0 残存高10.1	口縁端部　凹線2条 内面　卸目1単位13条		〃	外　にぶい赤橙 内　灰赤	良好	
－17	－	陶器擂鉢	口径34.0 残存高4.6	口縁部外面　凹線2条 内面　卸目1単位8条	口縁部内面　ヨコナデ 〃　外面　ヘラケズリ	1mm大の長石、石英を多量に含む	外内　橙	良	

ＳＤ０８　出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第118図－1	－	磁器盃	口径6.6 底径2.6 器高2.4		内外面　施釉	密	断　灰白	良好	
－2	－	肥前系染付陶器碗	底径5.2 残存高4.2	体部外面　一重網目文	内外面　施釉	密	断　灰白	良好	くらわんか手
－3	－	肥前系陶胎染付碗	口径10.4 残存高4.4	体部外面　染付	内外面　施釉	1mm以下の砂粒を多く含む	断　灰	良好	貫入

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第118図－4	－	肥前系青磁染付碗？	底径3.7 残存高1.7	内面見込　染付 高台中　「渦福」銘	内面　施釉 外面　青磁	密	断　灰白	良好	
－5	－	肥前系陶器碗	口径10.3 残存高5.6		内外面　施釉	1㎜以下の砂粒を多く含む	断　淡黄	良好	呉器手
－6	図版61	肥前系陶器青緑釉皿	底径4.6 残存高3.9		内面見込　蛇ノ目釉剥ぎ 内面　青緑釉施釉	密	外　淡黄 内　灰白	良好	
－7	－	肥前系陶器碗	底径5.0 残存高2.7		内外面　施釉	1㎜以下の砂粒を多く含む	断　灰白	良好	呉器手
－8	－	肥前系陶器碗	底径5.0 残存高3.5		内面　ロクロ利用による刷毛目	密	断　橙	良	
－9	－	肥前系磁器壺	底径5.9 残存高4.5		外面　施釉	密	内断　灰白	良好	素地灰色釉淡青灰色
－10	－	土師器小皿	口径8.0 残存高1.1		口縁部内外面　ヨコナデ	1㎜以下の石英を若干含む	外内　浅黄	良好	へそ皿？
－11	－	陶器皿	底径6.8 口径12.0 残存高1.8		口縁部内外面　ヨコナデ 底部外面　ヘラケズリ	1㎜以下の石英を若干含む	外　灰黄 内　赤褐	良	
－12	－	陶器壺	底径18.4 残存高5.2			密	外　黒褐 内　黒	良	
－13	－	陶器鉢	口径27.0 残存高6.4		口縁部内外面　ヨコナデ	密	外　オリーブ黒 内　暗灰黄	良	
－14	－	備前擂鉢	口径30.0 残存高4.5	口縁部外面　凹線2条	口縁部内外面　ナデ 体部内面　卸目	1㎜前後の砂粒を含む	外　橙 内　にぶい橙	良好	
－15	－	備前擂鉢	口径32.0 残存高4.2	口縁端部　凹線2条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　卸目	〃	外　明赤褐 内　にぶい赤褐	良好	

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第119図－16	－	備前擂鉢	口径30.0 残存高10.0	口縁端部　凹線２条	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　卸目	〃	外　灰赤 内　赤灰	良好	重ね焼き
－17	－	須恵器坏蓋	口径13.0 残存高3.0		口縁部内外面　ヨコナデ	１mm大の長石、石英粒を含む	外　灰 内　灰白	良	
－18	－	瓦質土器茶釜	口径15.8 残存高2.8		口縁部内外面　ヨコナデ	１mm大の長石、石英粒を多量に含む	外　灰オリーブ 内　灰	良	
－19	－	土師器羽釜	口径27.0 残存高3.5		口縁部内外面　ヨコナデ 体部内面　ハケ 〃　外面　指頭圧痕	１mm以下の石英を含む	外　黄灰 内　明灰黄	良	
－20	－	瓦質土器焙烙	口径37.6 残存高3.7	口縁部内面　相対する内耳２孔１対	口縁部内外面　ヨコナデ 〃　外面　指頭圧痕	〃	外　黒 内　灰	良	
－21	－	瓦質土器焙烙	口径39.0 残存高6.8	口縁部内面　相対する内耳２孔１対	口縁部内外面　ヨコナデ 体部内外面　ナデ 〃　内面　ハケ 〃　外面　指頭圧痕	〃	外　黒褐 内　暗灰黄	良	
－22	－	瓦質土器焙烙	口径39.6 残存高4.8	口縁部内面　相対する内耳２孔１対	体部内面　ハケ 〃　外面　ナデ 〃　指頭圧痕	〃	外　黄灰 内　灰黄	良	

遺構外出土土器

挿図番号	図版番号	器　種	法　量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎　土	色　調	焼成	備　考
第120図－１	－	染付磁器小杯	底径3.8 残存高4.9	体部外面　折れ松葉文	内外面　施釉	密	断　灰白	良好	
－２	－	〃	口径7.5 残存高4.5	口縁部外面　雨降り文	内外面　施釉	〃	断　灰白	良好	
－３	－	瀬戸美濃系染付磁器碗	底径4.2 残存高2.7		底部外面　ヘラ削り 高台部以外　施釉	１mm以下の砂粒を多く含む	断　灰白	良好	釉の色淡オリーブ灰　内面に貫入
－４	－	肥前系陶器小瓶	底径2.4 残存高3.6		体部外面　鉄釉 底部外面　回転糸切り	密	断　灰白	良好	

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第120図－5	－	染付磁器 碗	口径10.2 残存高3.3	体部外面　草花文	内外面　施釉	〃	断　灰白	良好	
－6	－	染付磁器 碗	底径5.4 残存高2.8	体部外面　染付	内外面　施釉	〃	断　灰白	良好	
－7	－	染付磁器 碗	口径10.8 残存高3.9	体部外面　染付	内外面　施釉	〃	断　灰白	良好	
－8	－	染付磁器 碗	底径4.7 残存高6.2	体部外面　草花文？	内外面　施釉	〃	断　灰白	良好	
－9	－	染付磁器 碗	底径6.1 残存高2.7	内面見込　菊花文	高台畳付　離れ砂	〃	断　灰白	良好	
－10	－	磁器 碗	底径5.0 残存高3.5		内面見込　蛇ノ目釉剥ぎ	〃	断　灰白	良好	釉の色淡明青灰
－11	－	肥前系 陶器 碗	底径5.2 残存高1.8		内外面　施釉	〃	断　淡黄	良好	釉の色橙色
－12	－	肥前系 陶器 碗	底径4.6 残存高5.8		内外面　施釉 高台畳付　離れ砂	1㎜以下の砂粒を多く含む	断　灰白	良好	釉の色淡黄 呉器手
－13	－	肥前系 陶器 碗	底径5.0 残存高4.5		体部内面　打刷毛目 〃　外面　ロクロ利用による波状刷毛目 高台畳付　離れ砂	密	断　黒褐	良好	
－14	－	肥前系 染付磁器 皿	底径7.2 残存高2.1	内面見込　五弁花文（コンニャク判）梅樹文？ 体部外面　唐草文 高台内　銘あり		〃	断　灰白	良好	
－15	－	肥前系 陶器 灰釉皿	口径14.8 底径5.2 残存高4.0		内面見込　蛇ノ目釉剥ぎ 体部内外面　施釉	〃	外　赤褐 内　にぶい橙	良好	
－16	－	陶器 碗	底径7.0 残存高2.3			〃	断　灰白	良	

挿図番号	図版番号	器種	法量（cm）	施文の特徴	成形及び調整方法	胎土	色調	焼成	備考
第120図－17	－	肥前系染付磁器皿	底径3.8 残存高3.1	体部内面　染付	内面見込　蛇ノ目釉剥ぎ	密	外内　灰白	良好	
－18	－	肥前系鉄釉皿	口径13.6 残存高1.7		口縁部内面および外面　鉄釉施釉	〃	断　にぶい赤褐	良好	釉の色明赤褐
－19	－	肥前系陶器皿	底径4.6 残存高3.4		体部内面　緑釉施釉 〃　外面　灰釉施釉 内面見込　蛇ノ目釉剥ぎ	〃	断　灰白	良好	釉の色オリーブ黒
－20	－	肥前系陶器皿	底径4.6 残存高3.0		口縁部外面　刷毛面 内面見込　蛇ノ目釉剥ぎ 内面　刷毛目	〃	外内　にぶい赤褐	良好	露胎
－21	－	陶器壺？	底径12.0 残存高3.9		底部内面　ヨコナデ 〃　外面　ハケ 〃　底　ハケ	〃	外　明紫灰 内　赤灰	良好	黒斑 堅微
－22	－	陶器擂鉢	底径10.0 残存高4.4		体部内面　卸目 体部外面　ヨコナデ 底部〃　ヘラ削り	1㎜以下の砂粒を若干含む	外　にぶい黄橙 内　にぶい橙	良好	
－23	－	陶器皿	口径32.0 残存高4.0		内面　刷毛目	密	外　黄褐	良好	
－24	－	陶器甕	口径34.6 残存高5.4		口縁部内外面　ヨコナデ	〃	外　暗灰黄 内　浅黄	良好	
－25	－	土師器焙烙	口径33.0 残存高4.0		口縁部内外面　ヨコナデ 体部外面　指ナデ	1㎜以下の砂粒を若干含む	外　黒褐 内　暗灰黄	良	
－26	－	土師器小皿	口径9.2 残存高1.5		口縁部内外面　ナデ 底部外面　ヘラ切り後ナデ	1㎜以下の石英を若干含む	外　浅黄橙 内　灰白	良	
－27	－	土師器焙烙	口径50.8 残存高5.7		口縁部内外面　ヨコナデ 体部外面　指頭圧痕 〃　ヘラ削り	3㎜以下の長石、石英を含む	外　黒褐 内　にぶい橙	良	

2．遺物観察表（石器）

ＳＤ１０・１１　出土石器

挿図番号	図版番号	器　種	現存長（cm）	最大幅（cm）	最大厚（cm）	重　量（g）	材　質	特　徴
第35図－1	図版33	打製石斧（石鍬）	5.0	5.2	1.4	41.7	サヌカイト	刃部のみ残存。基部を欠損し不明であるが、ほぼ同じ幅で基部までつづき長方形を呈するものと考えられる。刃部は片面からの調整を主に刃をつくる。刃部は鋭利である。側縁部には若干の刃潰しがみられる。
－2	〃	〃	8.6	5.2	2.0	113.5	〃	完形、厚い素材を使用。刃部に比べ基部がやや狭い撥形を呈する。刃部は使用による打撃の為、階段状剥離が多くみられ、先端部は丸い。両側縁部は敲打による刃潰しがみられる。基部端は鋭利である。
第36図－3	図版34	〃	16.3	7.7	3.6	603.6	サヌカイト	先端部を欠損、大型品である。一面には自然面が残る。両側縁部は敲打による刃潰しが顕著である。基部は、ほとんど調整がみられない。
－4	〃	〃	16.5	8.0	3.1	507.3	〃	先端部および基端部を欠損、大型品である。一面には自然面が残る。両側縁部は両面からの粗い調整の後、敲打による刃潰しが顕著である。基部および先端部の２ヶ所がくびれる。
第37図－1	図版33	打製石庖丁	5.0	3.4	0.8	20.1	サヌカイト	両端を欠損する。上縁部および下縁部は粗い打ち欠きにより調整を行う。両端を欠損して不明であるが、石槍の可能性もある。
－2	〃	〃	6.2	4.4	0.9	29.2	〃	両端を欠損する。厚めの素材を使用。上縁部および下縁部は両面からの打ち欠きにより調整を行う。中央部は両面とも平坦面を残す。両縁部とも刃部は鈍い。
－3	〃	〃	5.9	4.1	0.7	22.1	〃	右半分を欠損する。平面形態は半月状を呈する。上縁部は両面からの打ち欠きの後、敲打による背潰しを行う。一方下縁部は両面からの打ち欠きにより鋭利な刃部をつくる。Ａ面下縁～中央部にかけて使用による磨耗がみられる。
－4	〃	〃	5.6	4.2	0.7	28.4	〃	右半分を欠損する。左側縁部に抉りをもつ。上縁部は両面からの打ち欠きの後、敲打による背潰しを行う。一方下縁部は両面からの打ち欠きにより鋭利な刃部をつくる。両面とも平坦面を多く残す。
－5	〃	〃	5.4	5.4	0.9	35.7	〃	両端を欠損する。厚めの素材を使用。背部に比べ刃部が厚い。背部は片面からの調整のみで整形を行い、刃部は両面からの調整により刃部をつくるが鈍い。
－6	〃	石鎌	8.2	2.8	0.8	25.4	〃	先端部を欠損する。背部は両面からの打ち欠きの後、敲打による背潰しを行う。刃部についても両面からの打ち欠きにより調整を行うが、刃部は鈍い。
第38図－1	図版33	楔形石器	3.8	4.2	1.1	21.9	サヌカイト	両側縁に裁断面をもつ。厚い素材である。上縁部および下縁部に敲打による刃潰れがみられる。

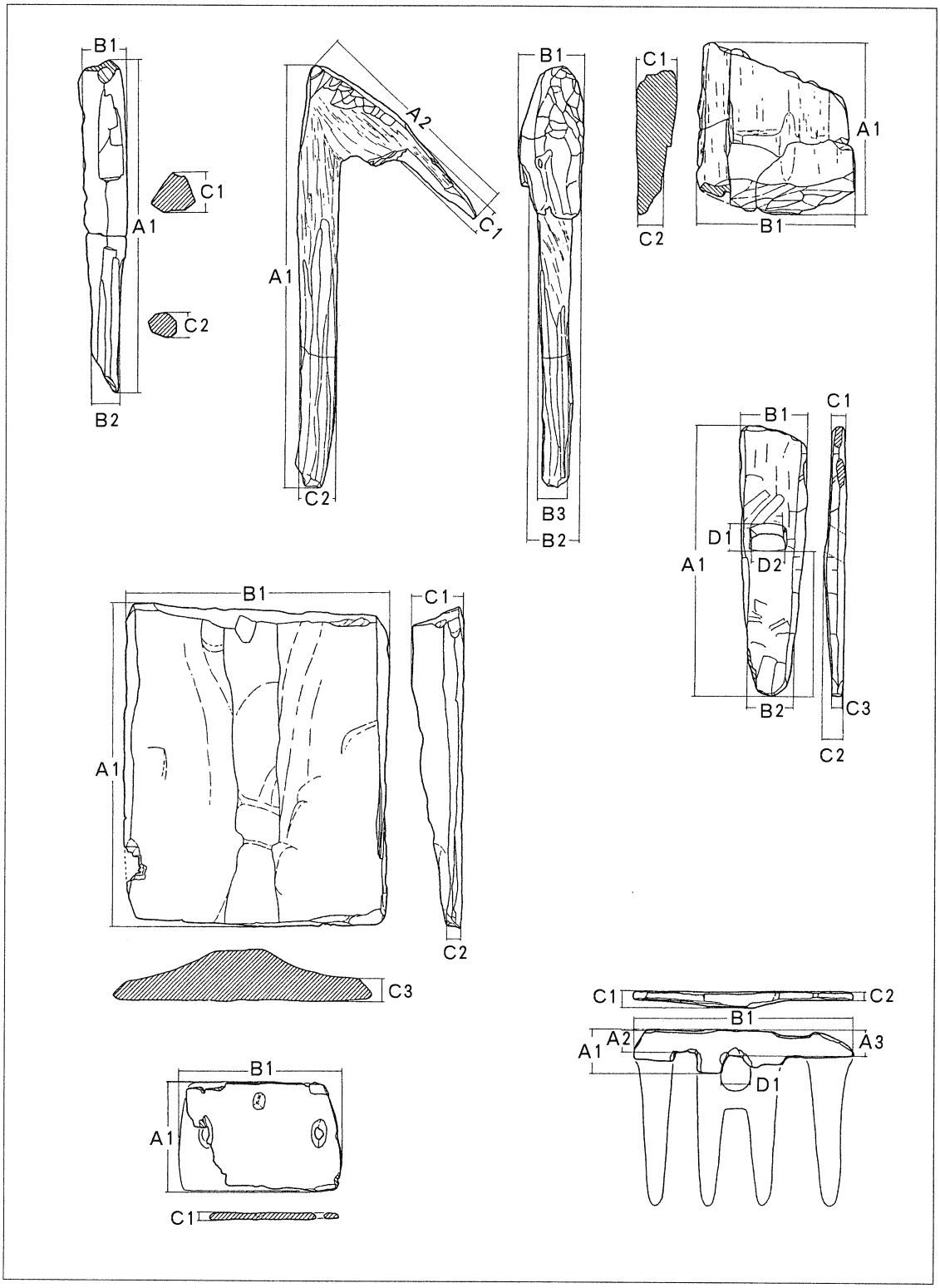
挿図番号	図版番号	器　種	現存長（cm）	最大幅（cm）	最大厚（cm）	重　量（g）	材　質	特　　徴
第38図－2	図版33	楔形石器	6.0	3.8	1.3	36.4	サヌカイト	厚い素材を使用。両側縁および上縁部に裁断面をもつ。下縁部には打撃による刃潰れ、若干の階段状剥離がみられる。
第39図－1	図版33	石鏃	3.4	1.8	0.5	1.2	サヌカイト	凹基式。薄い素材を使用。基部の抉りは深く入る。縁辺部の調整は細く行われており、剥離は中央部近くにまで及ぶ。両面とも丁寧なつくりである。
－2	〃	〃	3.8	2.2	0.4	2.7	〃	未製品。基部を欠損。縁辺部の調整は左側縁部に片面からの調整がみられるのみ、他は明確な調整はみられない。
－3	〃	〃	3.7	2.3	0.6	5.8	〃	平基式。厚い素材を使用。縁辺部の調整は粗く、剥離は中央部まで及ばない。未製品の可能性。
－4	〃	石槍	10.7	3.8	0.9	51.4	〃	先端部を欠損。やや厚めの素材を使用。先端近くの縁辺部は両面からの調整により刃部をつくる。基部は両面からの調整を行った後、敲打による刃潰しを行っている。
第40図－1	図版33	削器	5.4	2.5	0.5	10.0	サヌカイト	右側縁部を欠損。明瞭な調整は下縁部のみであり、調整についても丁寧なものではない。
－2	〃	〃	4.4	3.5	0.6	8.2	〃	平面形態は台形を呈する。両側縁部に裁断面をもつ。下縁部のみに調整がみられるが、大きな調整のみで細かなものはみられない。
－3	〃	〃	5.8	5.4	0.7	24.7	〃	左側縁部を欠損。刃部となる下縁部はB面からの調整のみで刃部をつくる。粗い調整ながら刃部は鋭利である。
－4	〃	〃	6.8	3.4	0.6	13.9	〃	薄い素材を使用。両側縁部は未調整。上縁部の調整は粗く、下縁部の調整は、主にB面からの調整により刃部をつくる。刃は鋭利である。
－5	〃	〃	6.4	5.0	1.1	36.1	〃	右半分を欠損。厚めの素材を使用。下縁部は、やや粗い調整により刃部をつくる。上縁部についても粗い調整の後、敲打による刃潰しを行う。
－6	〃	〃	8.0	6.7	1.2	51.4	〃	明瞭な調整がみられるのは下縁部のみで、B面からの調整のみで刃部をつくる。両側縁部は裁断面をそのまま残す。
－7	〃	〃	3.9	3.4	0.7	8.7	〃	両側縁部に裁断面をもつ。下縁部は両面からの粗い調整により刃部をつくる。

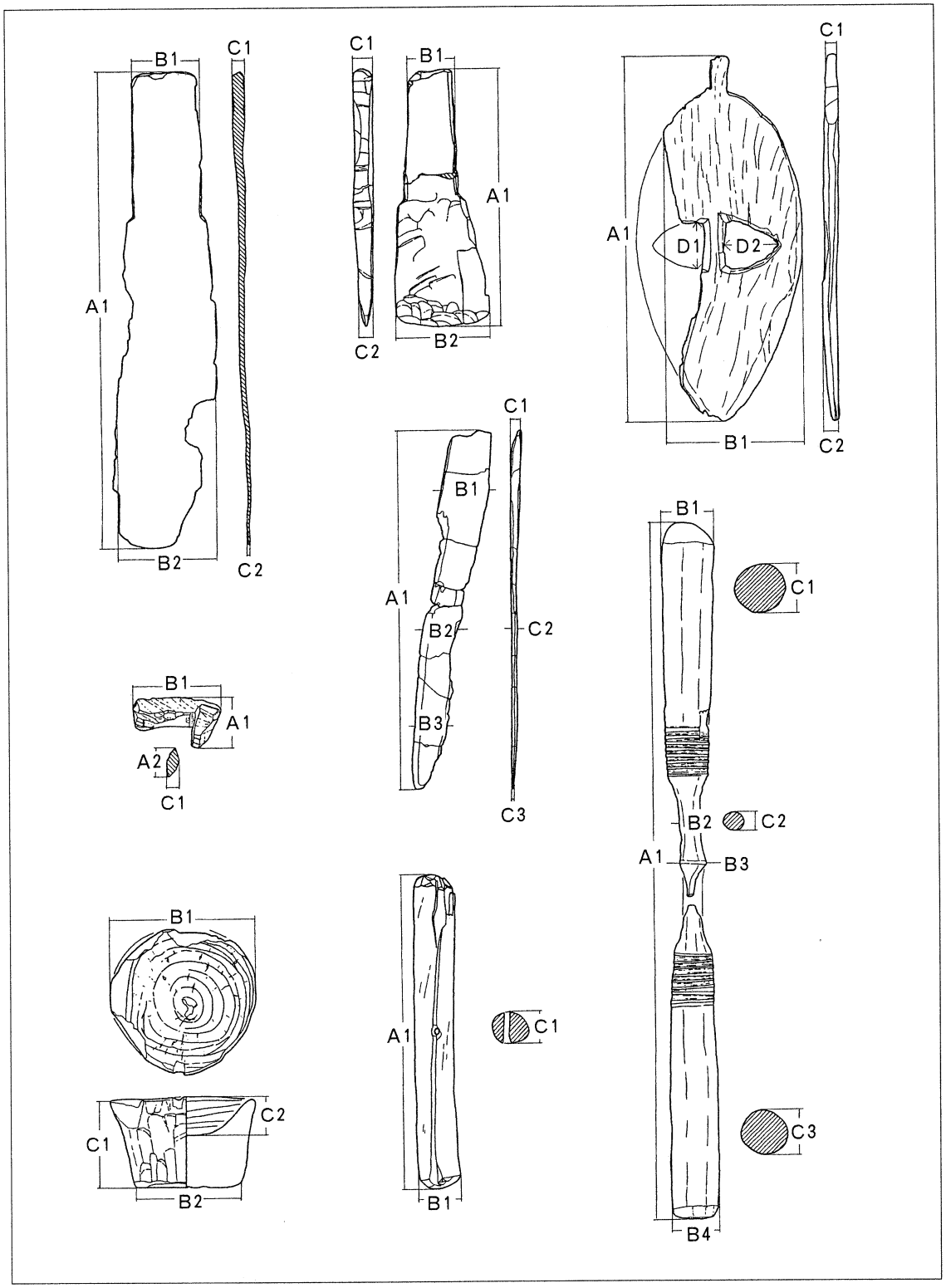
挿図番号	図版番号	器　種	現存長（cm）	最大幅（cm）	最大厚（cm）	重　量（g）	材　質	特　　徴
第40図－8	図版33	削器	4.7	4.0	0.9	15.0	サヌカイト	下縁部に若干の調整により刃部をつくる。右側縁部に裁断面を残す。
－9	〃	〃	4.5	6.0	1.1	27.5	〃	右側縁部を欠損。厚い素材を使用。下縁部の調整は両面からの打ち欠きにより刃部をつくる。若干の刃潰れあり。
－10	〃	〃	4.6	5.8	1.1	23.5	〃	下縁部のみに調整がみられる。薄い下縁部を両面から調整し、刃部をつくる。
第41図－1	図版34	蛤刃石斧	15.2	10.0	4.6	1,067.6	カンラン石を含む讃岐岩質安山岩	未製品。裏面は研磨を行わず自然面を残す。刃部近くの研磨が丁寧に行われている。側縁部、基部はほとんど未調整。
－2	〃	敲石	12.8	9.8	4.2	706.2	砂岩	一部欠損。側面はすべて敲打による潰れが認められる。表、裏面とも平坦である。
第42図－1	図版34	砥石	14.5	6.1	5.8	787.9	砂岩	2面について使用痕が認められる。1面は全面を使用。もう1面は使用は認められるものの、凹凸がみられることから、この面は別の物を研磨した可能性がある。
－2	〃	石皿	16.7	9.5	4.5	1,200.0	安山岩	半分を欠損。中央は敲打による打撃で凹む。中央部の凹みの表面は凹凸である。裏面についても磨耗の具合から若干の研磨が考えられる。
	図版33	敲打痕をもつ石器	10.4	4.9	2.7	181.4	サヌカイト	平面形態は撥形を呈する。一部自然面を残す。側縁部は敲打による刃潰し、階段状剥離が顕著。石鍬（打製石斧）の可能性あり。

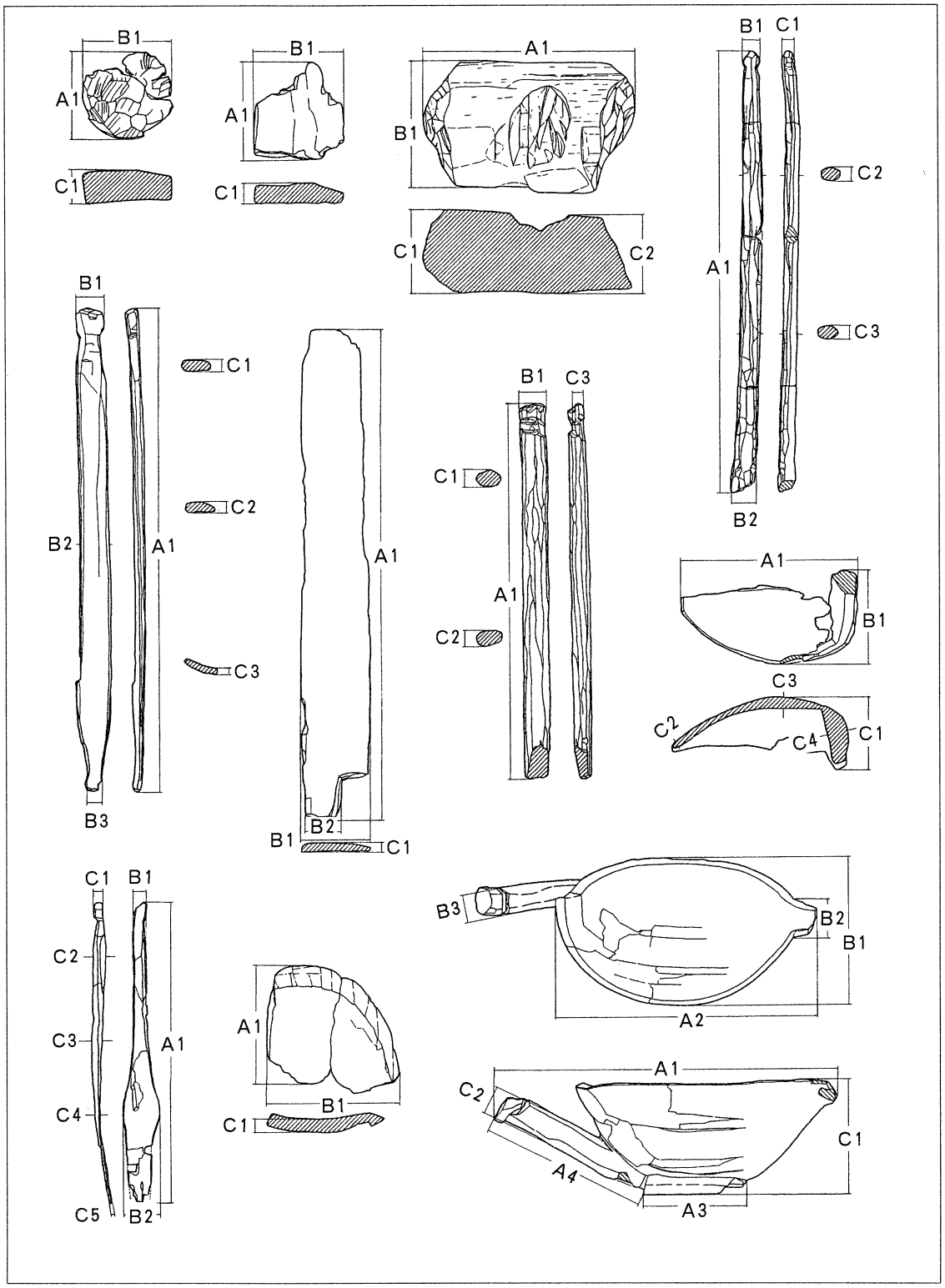
木器計測表凡例

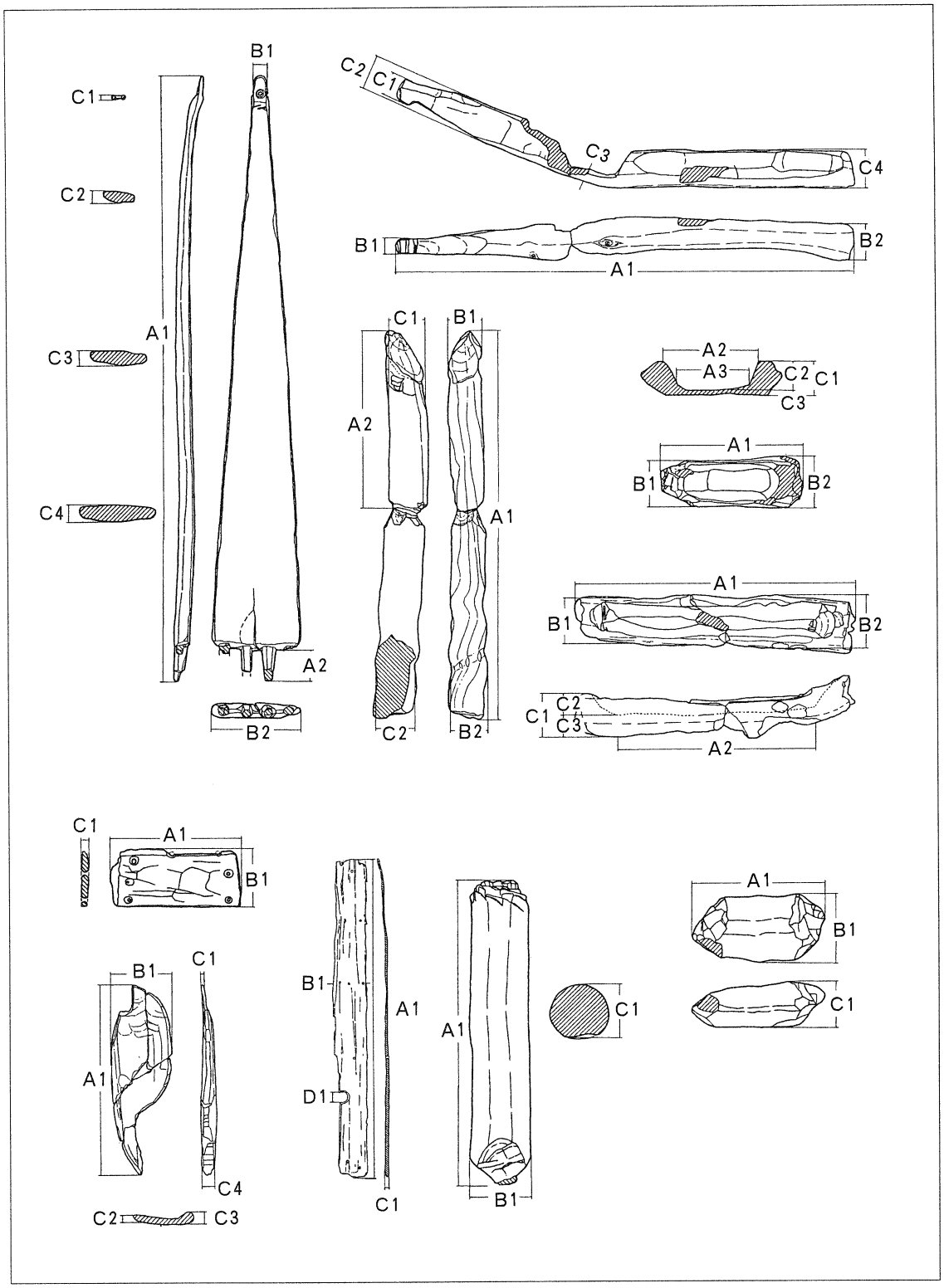
1．本文中に掲載した木器及び木製品の法量については、別紙のとおり木器計測表を作成した。計測方法はA　全長　B　幅　C　厚さ　を基準とし、計測数の多い器種については、計測箇所を図示し、A_1、A_2、A_3のように記載した。

2．木器計測表末尾の樹種鑑定番号は、第二分冊自然科学・考察編　第1節　「高松市井手東Ⅰ遺跡出土の木製品の樹種」の樹種鑑定番号と対応するように作成している。なお、出土木製品の樹種鑑定は、整理作業の前半段階で行ったため、最終的に樹種鑑定を行っていないものも多く存在する。その場合、樹種鑑定番号欄が空欄となっている。


B1
C1
A1
C2
B2
A2
C1
A1
C2
B1
B3
B2
C1
C2
A1
B1
B1
C1
D1
D2
A1
B2
C3
C2
B1
C1
A1
C2
C3
C1
C2
B1
A2
A3
A1
D1
B1
A1
C1


B1
C1
A1
B2
C2
C1
B1
A1
C2
B2
C1
A1
D1
D2
B1
C2
C1
B1
A1
B2
C2
B3
C3
B1
A1
A2
C1
B1
C1
B2
C2
A1
B3
B1
A1
C1
C2
C1
B2
C3
B1
B4


B1
A1
C1
B1
A1
C1
A1
B1
C1
C2
B1
C1
A1
C2
C3
B2
B1
C1
C2
B2
A1
C3
B3
A1
B1
C3
C1
A1
C2
B2
A1
B1
C3
C2
C4
C1
B1
B2
C1
C1
B1
C2
C3
A1
C4
C5
B2
A1
B1
C1
B3
B2
B1
A2
A1
C2
C1
A4
A3


B1
C1
C2
C3
C4
A1
A2
B2
C2
C1
C3
C4
B1
B2
A1
C1
B1
A2
A1
C2
B2
A2
A3
C2
C1
C3
A1
B1
B2
A1
B1
B2
C1
C2
C3
A2
C1
A1
B1
B1
C1
A1
D1
C1
A1
B1
C1
A1
B1
C1
C4
C2
C3

3．ＳＤ10・11出土木器、木製品計測表

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	A_2	A_3	B_1	B_2	B_3	C_1	C_2	C_3	D_1	D_2		
第44図－1	図版35	板状鉄斧	31.0	4.0	—	2.5	3.6	2.3	—	—	—	—	—	———	
－2	図版35	袋状鉄斧	39.3	20.8	—	6.2	4.8	2.8	2.5	3.4	—	—	—	KTAK 13	
第45図－1	—	箆状木製品	13.5	—	—	1.6	—	—	0.6	—	—	—	—	———	
－2	—	〃	4.3	—	—	1.4	—	—	0.3	—	—	—	—	———	
－3	図版35	〃	8.9	—	—	2.2	—	—	0.5	—	—	—	—	KTAK153	
－4	図版51	〃	9.6	—	—	2.4	—	—	1.0	—	—	—	—	KTAK106	
－5	図版35	〃	14.8	—	—	3.0	—	—	1.7	—	—	—	—	KTAK 42	
－6	図版35	〃	24.9	—	—	2.5	—	—	1.9	—	—	—	—	KTAK143	
第46図－1	図版36	直柄平鍬（広鍬）	16.2	—	—	14.6	—	—	3.8	2.5	—	—	—	KTAK122	
－2	図版36	〃	30.4	—	—	24.4	—	—	4.8	1.3	2.0	—	—	KTAK 10	
第47図－1	図版37	直柄平鍬（狭鍬）	10.4	—	—	8.4	—	—	1.2	0.7	—	—	3.2	KTAK144	
－2	図版56	〃	20.0	—	—	4.0	—	—	2.5	0.7	0.4	4.3	—	KTAK160	
－3	図版37	〃	13.5	—	—	4.5	—	—	—	1.0	0.2	4.5	2.6	KTAK 65	
－4	図版37	〃	25.8	13.8	—	6.2	4.3	—	1.2	2.0	0.9	2.7	3.2	———	
－5	図版37	〃	24.3	—	—	13.0	9.4	—	3.4	—	3.5	—	—	KTAK134	
第48図－1	図版38	直柄又鍬	4.1	1.9	2.4	20.8	—	—	1.5	0.7	—	3.0	—	KTAK228	

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	B_1	B_2	C_1	C_2								
第48図－2	図版38	直柄横鍬	6.7	11.0	—	1.0	1.4	—	—	—	—	—		KTAK 78	
－3	図版38	〃（泥除）	10.0	—	—	15.4	0.7	—	—	—	—	—		KTAK129	
第49図－1	図版38	曲柄平鍬	16.3	3.2	5.7	0.8	0.9	—	—	—	—	—		KTAK 31	
－2	図版39	〃	23.7	4.5	8.9	1.8	1.3	—	—	—	—	—		KTAK139	
－3	図版56	〃	30.6	3.4	4.7	1.4	1.6	—	—	—	—	—		KTAK130	
－4	図版38	〃	24.0	5.1	8.0	1.2	0.9	—	—	—	—	—		KTAK133	
－5	図版56	〃	7.6	2.4	3.6	1.3	—	—	—	—	—	—		KTAK 67	
－6	図版39	〃	43.9	6.4	9.2	1.2	0.2	—	—	—	—	—		KTAK188	
第50図－1	図版40	曲柄又鍬	6.0	3.0	—	1.0	—	—	—	—	—	—		KTAK 94	
－2	図版40	〃	6.7	4.0	—	0.9	—	—	—	—	—	—		KTAK 36	
－3	図版40	〃	8.0	6.7	—	1.2	—	—	—	—	—	—		KTAK175	
－4	図版40	〃	15.9	5.1	—	1.0	—	—	—	—	—	—		KTAK 88	
－5	図版40	〃	20.6	3.8	—	1.0	—	—	—	—	—	—		———	
－6	図版40	〃	14.3	4.2	—	0.9	—	—	—	—	—	—		KTAK 33	
－7	図版40	〃	20.9	3.1	—	0.5	—	—	—	—	—	—		KTAK 45	
－8	図版40	〃	24.0	3.5	—	1.5	—	—	—	—	—	—		———	

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	A_2	B_1	B_2	B_3	B_4	C_1	C_2	C_3	D_1	D_2		
第50図－9	図版40	曲柄又鍬	24.3	—	3.4	—	—	—	0.9	—	—	—	—	KTAK183	
－10	図版41	〃	30.4	—	1.8	2.3	—	—	1.0	—	—	—	—	KTAK 3	
－11	図版40	〃	33.5	—	4.5	3.3	3.0	—	0.9	0.6	0.2	—	—	KTAK 75	
第51図－1	図版57	狭鍬柄	39.8	—	3.0	3.4	—	—	2.4	—	—	—	—	———	
－2	図版57	〃	21.0	—	3.3	2.8	—	—	2.7	—	—	—	—	KTAK 35	
－3	図版57	柄（？）	23.8	—	3.5	—	—	—	3.4	—	—	—	—	KTAK 55	
－4	－	〃	14.5	—	4.4	—	—	—	2.0	—	—	—	—	KTAK 93	
－5	図版57	〃	41.8	—	3.9	—	—	—	4.2	—	—	—	—	———	
第52図－1	－	鋤把手状	4.8	2.7	8.2	—	—	—	1.2	—	—	—	—	———	
－2	図版41	鋤（？）	34.3	—	12.8	—		—	1.0	1.4	—	4.6	5.1	KTAK 5	
－3	図版41	鋤	34.5	—	11.9	—	—	—	1.2	—	—	—	—	KTAK 66	
第53図－1	図版42	臼	—	—	13.7	9.8	—	—	8.3	3.5	—	—	—	KTAK 7	
－2	図版42	竪杵状木器	29.4	—	4.0	—	—	—	3.0	—	—	—	—	KTAK166	
－3	図版42	竪杵	100.0	—	7.1	2.9	3.7	6.5	7.0	2.7	6.4	—	—	KTAK 9	
第54図－1	図版43	作業台	8.0	—	8.2	—	—	—	3.0	—	—	—	—	KTAK123	
－2	図版43	〃	8.9	—	8.4	—	—	—	1.9	—	—	—	—	KTAK163	

挿図番号	図版番号	器種	法量												樹種番号	備考
			A_1	A_2	A_3	A_4	B_1	B_2	B_3	C_1	C_2	C_3	C_4	C_5		
第54図－3	図版43	作業台	20.0	—	—	—	12.0	—	—	7.6	7.2	—	—	—	KTAK 26	
第55図－1	図版44	中筒	44.6	—	—	—	2.5	2.7	1.5	1.0	1.0	0.6	—	—	KTAK112	
－2	図版44	緯打具状木製品	46.3	—	—	—	6.5	3.4	—	0.9	—	—	—	—	KTAK 19	
－3	図版44	〃	58.0	—	—	—	5.0	2.5	—	1.6	—	—	—	—	KTAK151	
－4	図版45	経巻具	35.4	—	—	—	2.4	—	—	1.6	1.6	1.0	—	—	KTAK187	
第56図－1	図版45	弓	21.7	—	—	—	1.3	1.7	—	—	0.5	0.7	—	—	KTAK 44	
－2	図版45	〃	25.0	—	—	—	1.2	1.4	—	1.3	1.9	2.0	—	—	KTAK186	
－3	図版45	〃	41.7	—	—	—	1.5	2.5	—	1.2	1.3	1.3	—	—	KTAK145	
第57図－1	図版45	杓子形木器	28.3	—	—	—	1.2	3.3	—	0.8	1.1	0.9	0.4	0.2	KTAK 2	
－2	図版45	〃	22.7	—	—	—	1.1	3.0	—	—	0.8	1.0	0.3	—	KTAK 1	
第58図－1	図版56	高杯	11.0	—	—	—	12.3	—	—	1.2	—	—	—	—	KTAK127	
－2	図版46	片口	16.5	—	—	—	8.9	—	—	6.6	0.5	1.1	2.0	—	KTAK147	
－3	図版46	把手付片口	32.4	24.9	10.0	15.0	13.4	3.5	2.5	10.4	2.7	—	—	—	KTAK 11	
第59図－1	図版48	琴	57.3	3.0	—	—	1.3	8.2	—	0.4	1.1	1.4	1.5	—	KTAK 12	
第60図－1	図版47	鳥形	43.3	—	—	—	1.4	3.5	—	2.1	3.4	1.2	3.5	—	KTAK118	
－2	図版47	陽物形	36.5	16.5	—	—	3.1	3.4	—	3.4	3.7	—	—	—	KTAK 6	

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	A_2	A_3	B_1	B_2	C_1	C_2	C_3	D_1				
第60図－3	図版46	舟形	13.1	8.9	6.7	4.2	5.0	3.2	2.8	0.4	—	—		KTAK140	
－4	図版47	〃	26.5	18.7	—	4.2	5.0	4.0	2.0	2.0	—	—		KTAK 4	
第61図－1	図版49	箱部材	12.3	—	—	5.4	—	0.7	—	—	—	—		KTAK 54	
－2	図版49	〃	17.8	—	—	7.0	—	0.4	—	—	—	—		KTAK168	
－3	図版49	〃	10.8	—	—	7.2	—	0.7	—	—	—	—		KTAK162	
－4	－	〃	14.5	—	—	9.5	—	1.0	—	—	—	—		KTAK 69	
－5	図版49	〃	61.1	—	—	6.0	—	0.7	—	—	2.1	—		KTAK 17	
第63図－1	図版51	杭	9.7	—	—	2.6	—	2.6	—	—	—	—		KTAK 58	
－2	図版53	〃	13.2	—	—	2.6	—	2.1	—	—	—	—		———	
－3	－	〃	13.1	—		3.3	2.1	1.4	1.2	—	—	—		———	
－4	図版52	〃	10.1	—	—	2.5	—	2.4	—	—	—	—		KTAK198	
－5	図版52	〃	15.0	—	—	3.5	—	3.3	—	—	—	—		KTAK182	
－6	図版52	〃	16.1	—	—	2.2	—	2.4	—	—	—	—		———	
－7	図版52	〃	11.3	—	—	2.8	—	2.2	—	—	—	—		KTAK138	
－8	図版52	〃	19.1	—	—	4.0	—	3.7	—	—	—	—		———	
－9	図版52	〃	22.5	—	—	5.1	—	4.8	—	—	—	—		KTAK214	

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	B_1	B_2	C_1	C_2								
第63図－10	図版51	杭	25.4	3.5	—	2.5	—	—	—	—	—	—		KTAK110	
－11	図版52	〃	21.2	3.3	2.2	3.2	2.7	—	—	—	—	—		KTAK137	
第64図－12	図版52	〃	22.6	2.7	—	2.6	—	—	—	—	—	—		———	
－13	図版52	〃	19.2	4.6	—	3.8	—	—	—	—	—	—		———	
－14	図版52	〃	28.9	4.5	—	3.6	—	—	—	—	—	—		———	
－15	図版52	〃	47.6	1.8	—	1.5	—	—	—	—	—	—		KTAK 27	
－16	図版52	〃	22.2	4.2	—	3.5	—	—	—	—	—	—		KTAK 79	
－17	図版52	〃	23.7	4.5	—	4.8	—	—	—	—	—	—		———	
－18	図版53	〃	29.0	5.5	—	5.1	—	—	—	—	—	—		KTAK135	
第65図－1	図版51	先端加工棒	14.1	1.6	—	1.1	—	—	—	—	—	—		KTAK158	
－2	図版51	〃	13.3	2.3	—	1.6	—	—	—	—	—	—		KTAK 63	
－3	図版51	〃	18.0	2.0	—	1.8	—	—	—	—	—	—		KTAK 76	
－4	－	〃	14.9	1.7	—	1.8	—	—	—	—	—	—		KTAK 34	
－5	図版51	〃	20.0	1.7	—	1.3	—	—	—	—	—	—		KTAK 41	
－6	図版53	〃	16.3	2.3	—	—	—	—	—	—	—	—		KTAK124	
－7	－	〃	9.9	1.7	—	1.5	—	—	—	—	—	—		———	

挿図番号	図版番号	器　種	法量											樹種番号	備　考
			A_1	B_1	C_1										
第65図－8	－	先端加工棒	6.8	3.2	3.1	—	—	—	—	—	—	—		KTAK176	
－9	図版52	〃	6.9	2.8	2.6	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 46	
－10	－	〃	7.6	3.2	3.0	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 93	
－11	－	〃	15.7	3.1	1.9	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 56	
－12	－	〃	7.3	2.6	1.3	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 72	
－13	－	〃	9.9	4.2	2.0	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 94	
－14	図版51	〃	8.2	5.2	3.5	—	—	—	—	—	—	—		———	
第66図－1	図版51	先端加工材	14.5	4.6	3.3	—	—	—	—	—	—	—		———	
－2	図版51	〃	9.0	3.9	3.0	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 70	
－3	図版51	〃	14.0	4.0	3.5	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 85	
－4	－	〃	10.2	6.4	4.0	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 59	
－5	図版51	〃	12.1	8.0	6.0	—	—	—	—	—	—	—		———	
第67図－6	図版55	〃	14.3	10.5	8.5	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 51	
－7	図版53	〃	15.8	7.3	6.6	—	—	—	—	—	—	—		KTAK200	
－8	図版53	〃	18.0	10.4	8.8	—	—	—	—	—	—	—		KTAK116	
第68図－1	図版53	有　頭　棒	14.0	1.0	1.0	—	—	—	—	—	—	—		KTAK132	

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	B_1	B_2	C_1	C_2								
第68図－2	－	有頭棒	8.1	3.2	—	2.9	—	—	—	—	—	—		———	
－3	図版53	〃	42.0	2.9	2.5	2.5	2.4	—	—	—	—	—		KTAK196	
第69図－1	－	両端加工木1	53.4	8.0	—	7.6	—	—	—	—	—	—		———	
－2	－	〃	17.8	7.4	—	6.3	—	—	—	—	—	—		KTAK 61	
－3	図版54	〃	30.8	10.0	—	8.8	—	—	—	—	—	—		KTAK 50	
第70図－1	－	〃	52.5	7.2	—	5.7	—	—	—	—	—	—		KTAK216	
－2	－	〃	38.9	2.5	—	1.0	—	—	—	—	—	—		KTAK155	
－3	図版55	〃	14.7	8.0	—	4.4	—	—	—	—	—	—		KTAK108	
－4	図版55	〃	7.8	8.5	—	2.1	—	—	—	—	—	—		KTAK107	
－5	図版55	〃	9.4	8.8	—	4.2	—	—	—	—	—	—		KTAK101	
第71図－1	図版55	両端加工木2	7.7	2.7	—	3.3	—	—	—	—	—	—		KTAK170	
－2	図版55	〃	6.7	4.0	—	3.0	—	—	—	—	—	—		———	
－3	図版55	〃	5.4	3.4	—	2.4	—	—	—	—	—	—		———	
－4	－	〃	7.2	3.0	—	2.4	—	—	—	—	—	—		———	
－5	図版55	〃	12.5	6.3	—	4.2	—	—	—	—	—	—		———	
第72図－1	図版57	板材	8.4	2.0	—	0.6	—	—	—	—	—	—		———	

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	A_2	A_3	B_1	B_2	B_3	C_1	C_2	C_3	D_1	D_2		
第72図－2	－	板材	6.0	2.1	0.5	—	—	—	—	—	—	—		———	
－3	図版57	〃	9.5	2.6	0.6	—	—	—	—	—	—	—		———	
－4	－	〃	14.5	5.0	0.7	—	—	—	—	—	—	—		KTAK125	
－5	－	〃	13.0	6.6	0.6	—	—	—	—	—	—	—		KTAK103	
－6	図版57	〃	9.0	2.5	0.9	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 67	
－7	－	〃	9.3	5.7	0.5	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 68	
－8	－	〃	15.0	3.3	1.3	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 95	
－9	－	〃	8.3	5.5	0.8	—	—	—	—	—	—	—		———	
－10	図版57	〃	22.4	2.5	0.8	—	—	—	—	—	—	—		KTAK174	
－11	図版57	〃	33.2	3.5	1.0	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 67	
－12	図版57	〃	20.5	4.8	1.6	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 40	
－13	図版57	〃	36.5	4.2	0.3	0.2	—	—	—	—	—	—		KTAK161	
第73図－1	－	板材	28.7	9.4	0.6	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 22	
－2	図版58	〃	36.3	17.0	1.3	2.0	0.7	—	—	—	—	—		KTAK 20	
第74図－3	図版55	〃	10.9	13.4	1.8	—	—	—	—	—	—	—		KTAK210	
－4	図版54	〃	45.9	16.5	4.5	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 18	

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	B_1	B_2	C_1	C_2								
第75図－1	図版56	有孔板	16.7	2.6	—	0.6	—	—	—	—	—	—		KTAK211	
－2	図版56	〃	16.0	3.3	—	1.0	—	—	—	—	—	—		———	
－3	—	〃	11.0	5.2	—	0.6	—	—	—	—	—	—		KTAK 68	
－4	図版56	〃	13.8	2.9	—	0.7	—	—	—	—	—	—		KTAK 83	
－5	図版56	〃	14.0	2.0	—	0.5	—	—	—	—	—	—		———	
－6	図版56	〃	18.3	3.9	—	0.6	—	—	—	—	—	—		KTAK126	
－7	図版56	〃	11.8	4.2	—	0.8	—	—	—	—	—	—		———	
第76図－1	図版51	加工棒	9.4	1.5	—	1.3	—	—	—	—	—	—		———	
－2	図版51	〃	7.7	1.6	—	1.3	—	—	—	—	—	—		———	
－3	図版51	〃	7.6	1.5	—	1.0	—	—	—	—	—	—		KTAK 84	
－4	—	〃	21.1	1.2	—	0.9	—	—	—	—	—	—		———	
－5	図版51	〃	35.3	1.2	1.5	1.2	1.4	—	—	—	—	—		KTAK 43	
－6	—	〃	42.4	2.4	2.2	2.0	1.7	—	—	—	—	—		KTAK113	
－7	—	〃	44.0	1.6	1.6	1.1	0.9	—	—	—	—	—		KTAK 30	
－8	—	〃	17.2	1.2	—	1.2	—	—	—	—	—	—		———	
－9	図版51	〃	28.6	1.5	—	1.0	1.6	—	—	—	—	—		———	

挿図番号	図版番号	器種	法量											樹種番号	備考
			A_1	B_1	B_2	C_1	C_2								
第76図－10	－	加工棒	10.5	2.2	—	—	2.5	—	—	—	—	—		———	
第77図－1	図版58	コの字形加工木	54.3	1.2～1.6	—	—	1.3～1.8	—	—	—	—	—		KTAK119	
－2	図版54	舟形木製品（？）	36.0	4.3	9.7	9.0	6.6	—	—	—	—	—		KTAK 74	
第78図－1	図版58	庖丁形木器	17.7	5.7	—	—	0.3	0.6	1.0	1.2	—	—		KTAK146	
－2	図版58	〃	25.6	5.0	2.7	4.3	0.7	0.7	—	—	—	—		KTAK121	
－3	図版58	樹皮	3.6	2.5	1.6	—	—	—	—	—	—	—		———	
－4	図版55	先端加工木	10.2	1.1	—	—	1.5	—	—	—	—	—		———	
－5	図版55	〃	11.5	2.2	—	—	1.7	—	—	—	—	—		———	
－6	図版55	加工木	15.0	6.0	—	—	—	—	—	—	—	—		KTAK 71	

図　　版

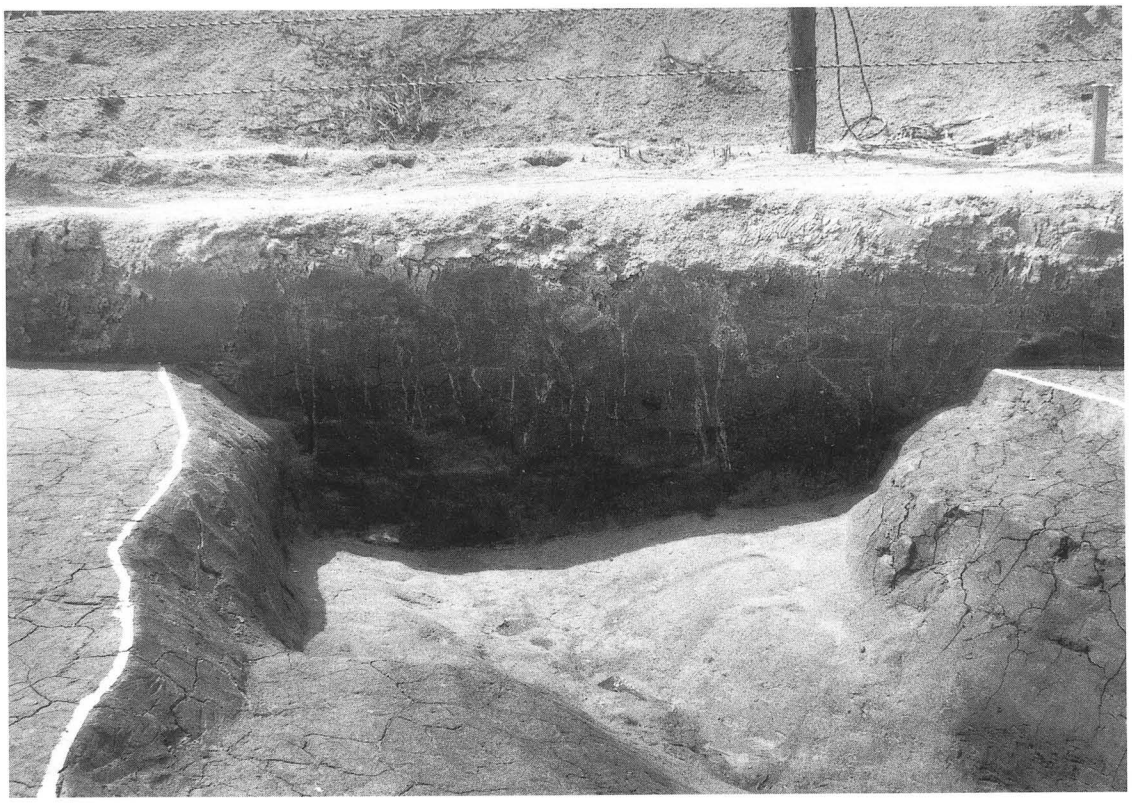
図版1

1．調査区中央部北壁土層堆積状況

2．調査区西部南壁土層堆積状況

1．ＳＤ１０完掘状況
（南東から）

2．ＳＤ１１完掘状況（南西から）



1．ＳＤ１０土層堆積状況

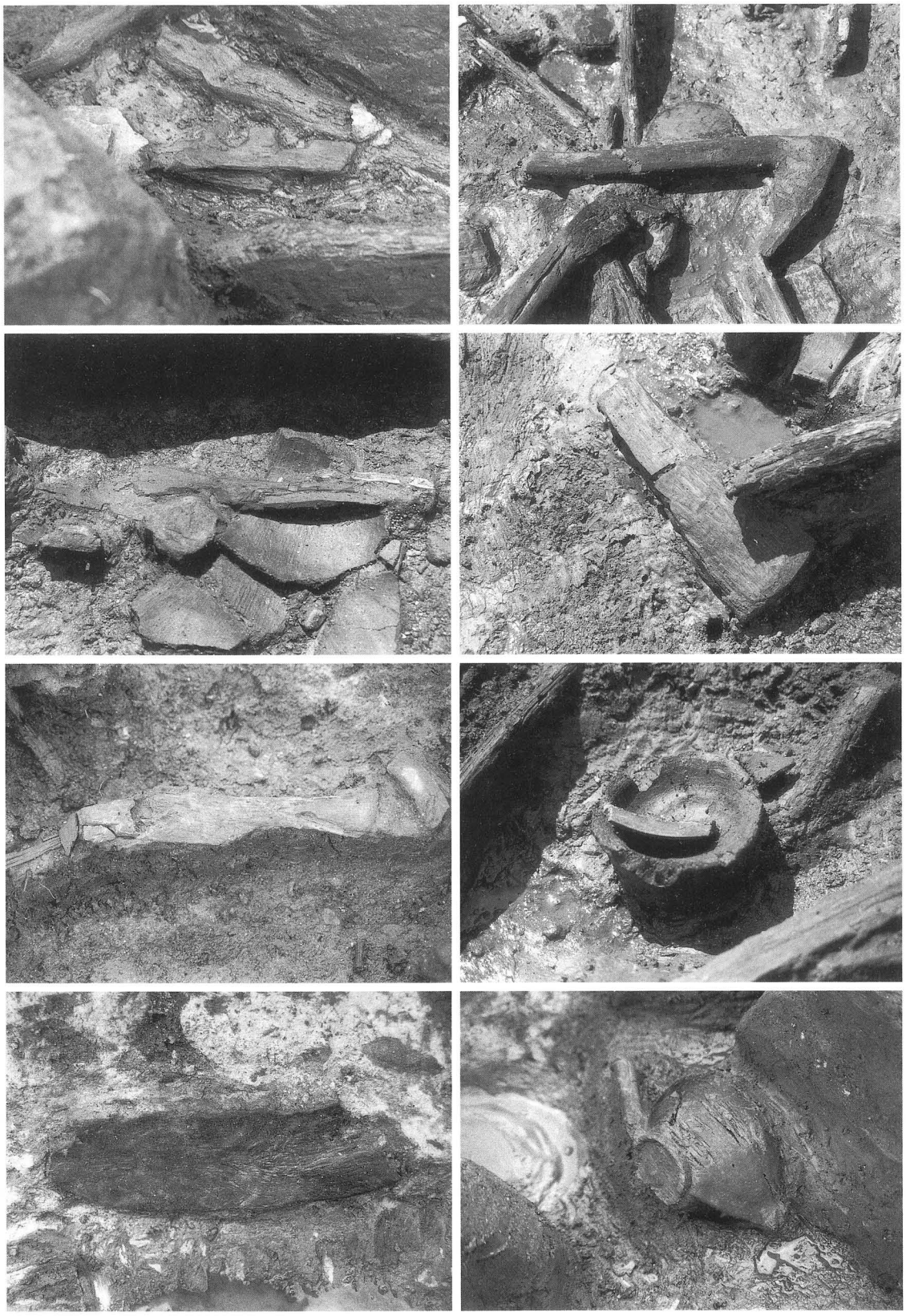
2．ＳＤ１１土層堆積状況

1．ＳＤ１０遺物出土状況（北部）

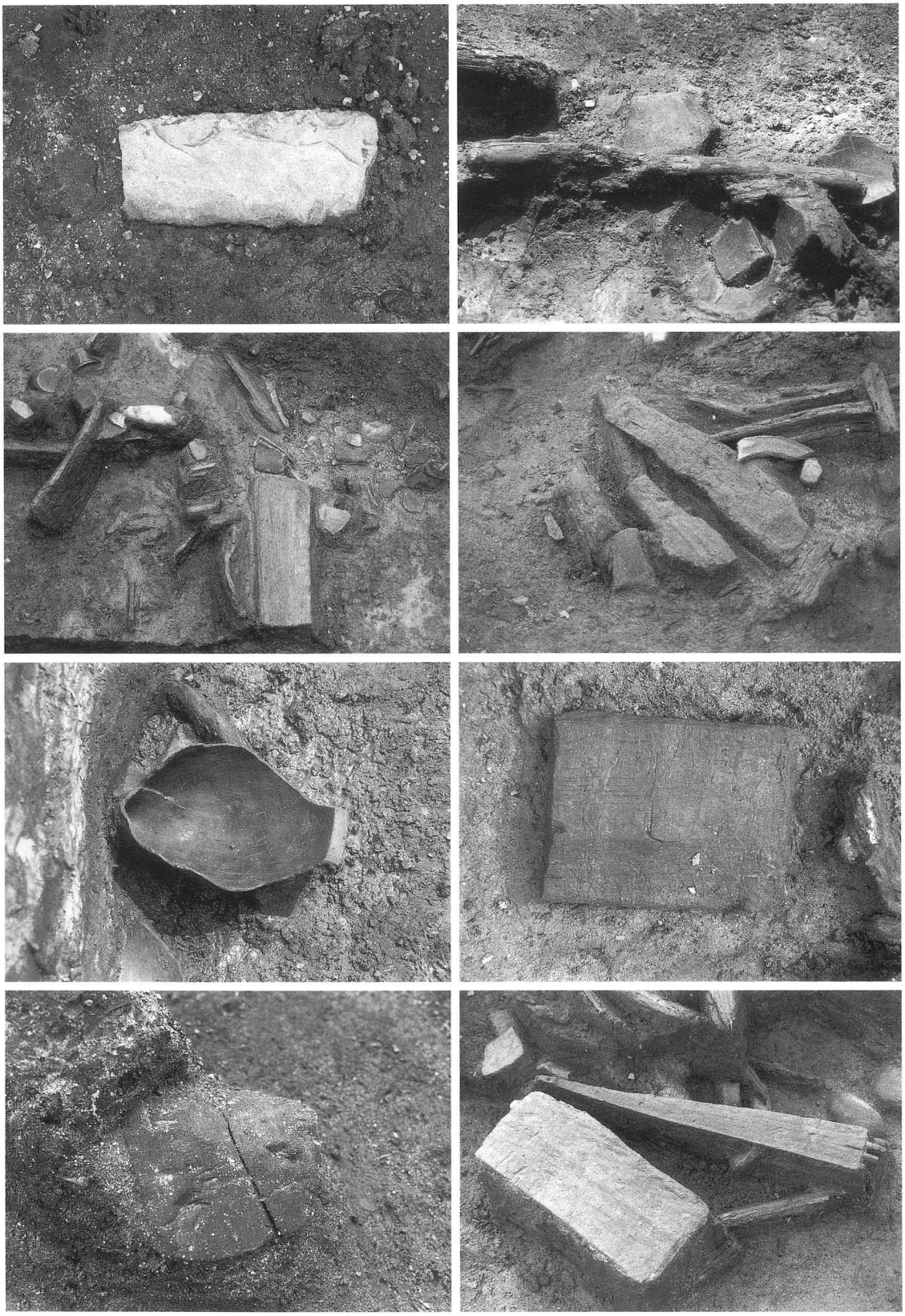
2．ＳＤ１０遺物出土状況（南部）

3．ＳＤ１１（Ⅲ区南）遺物出土状況

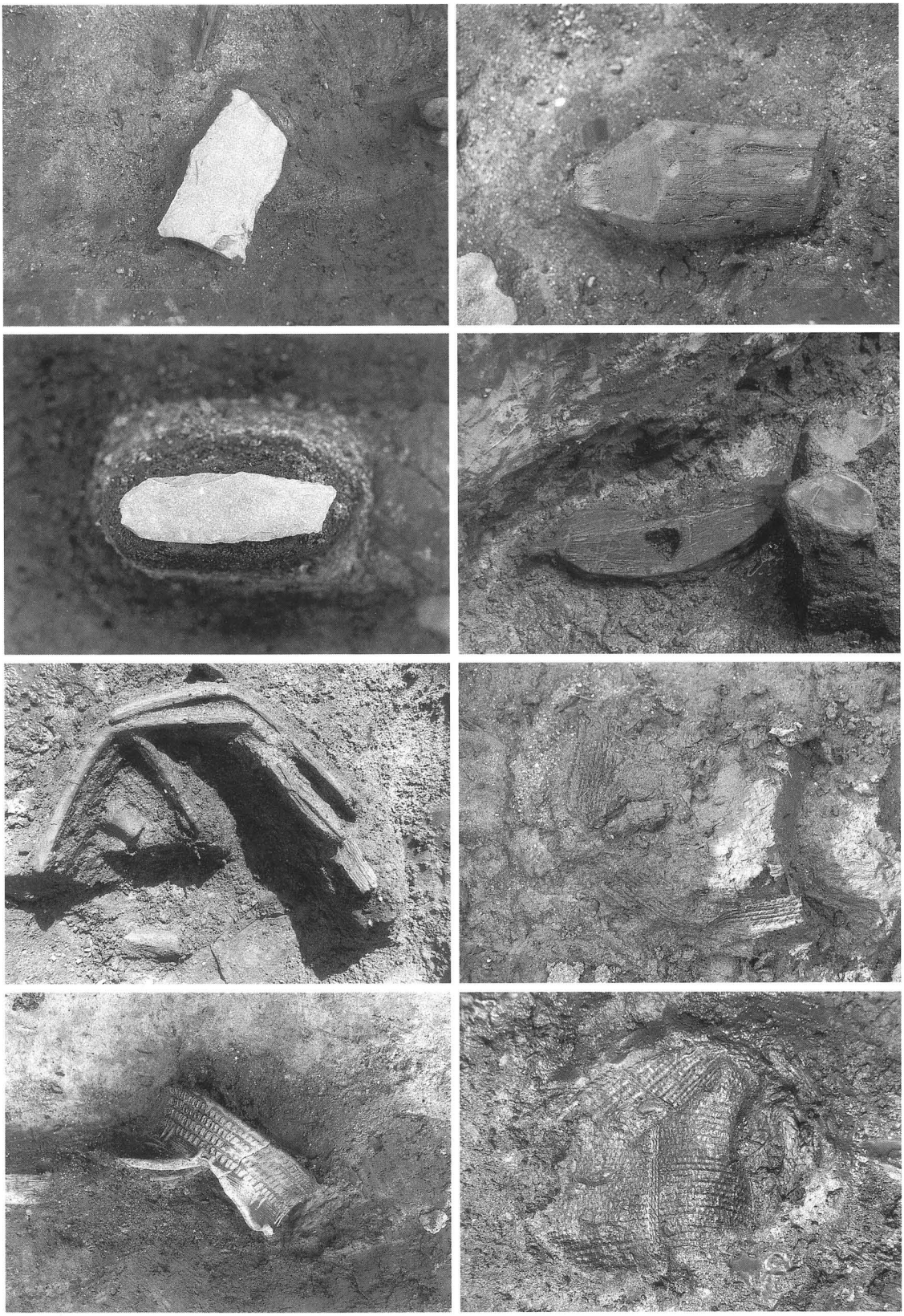
4．ＳＤ１１（Ⅳ区南）遺物出土状況



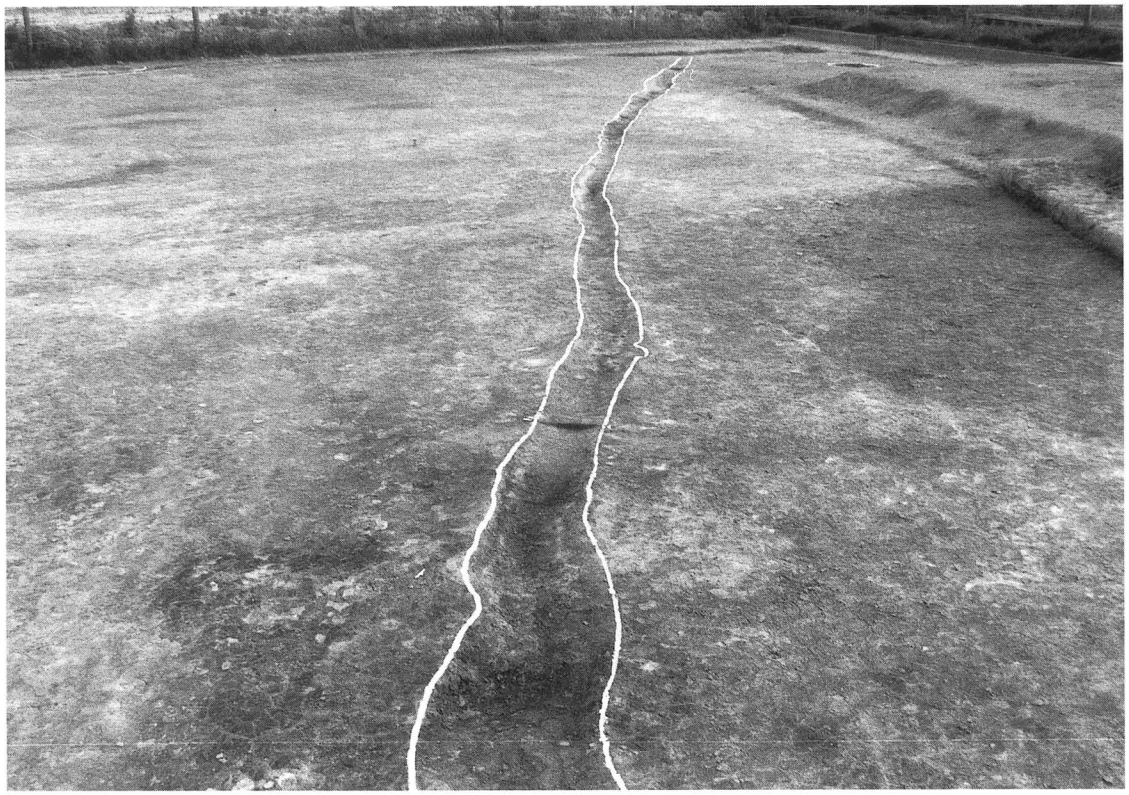
ＳＤ１０遺物出土状況



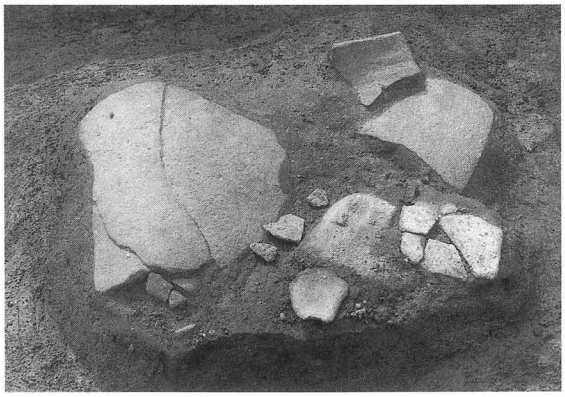
ＳＤ１１遺物出土状況(1)

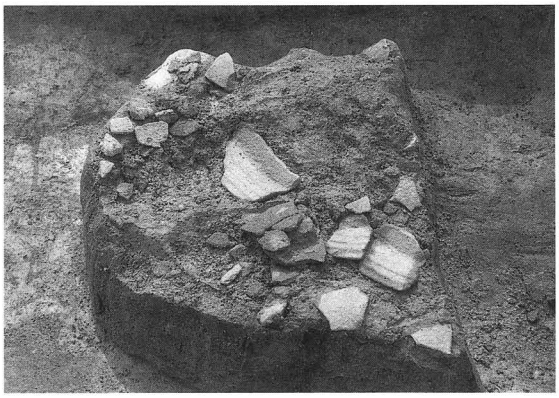


ＳＤ１１遺物出土状況(2)



1．ＳＤ１４完掘状況（南から）

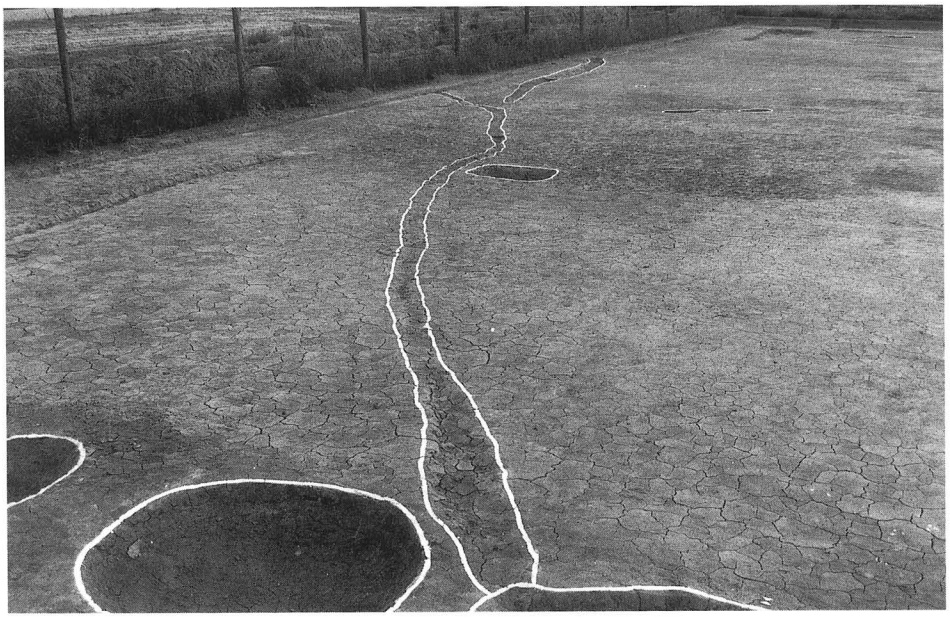




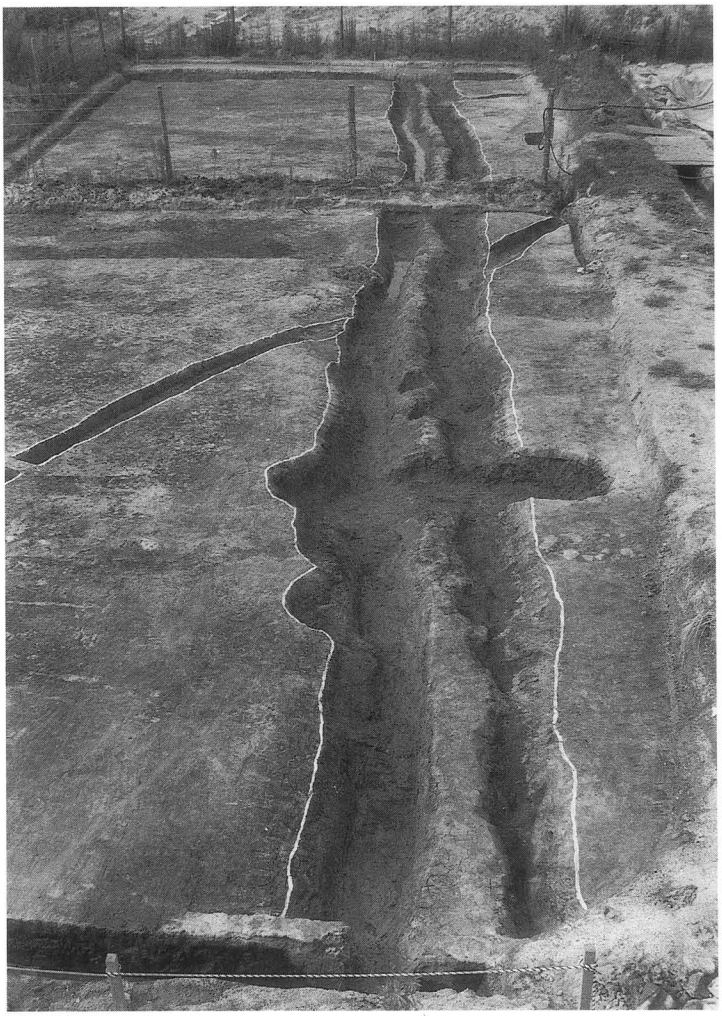
2．ＳＤ１４遺物出土状況

1．ＳＤ０９完掘状況
（南西から）

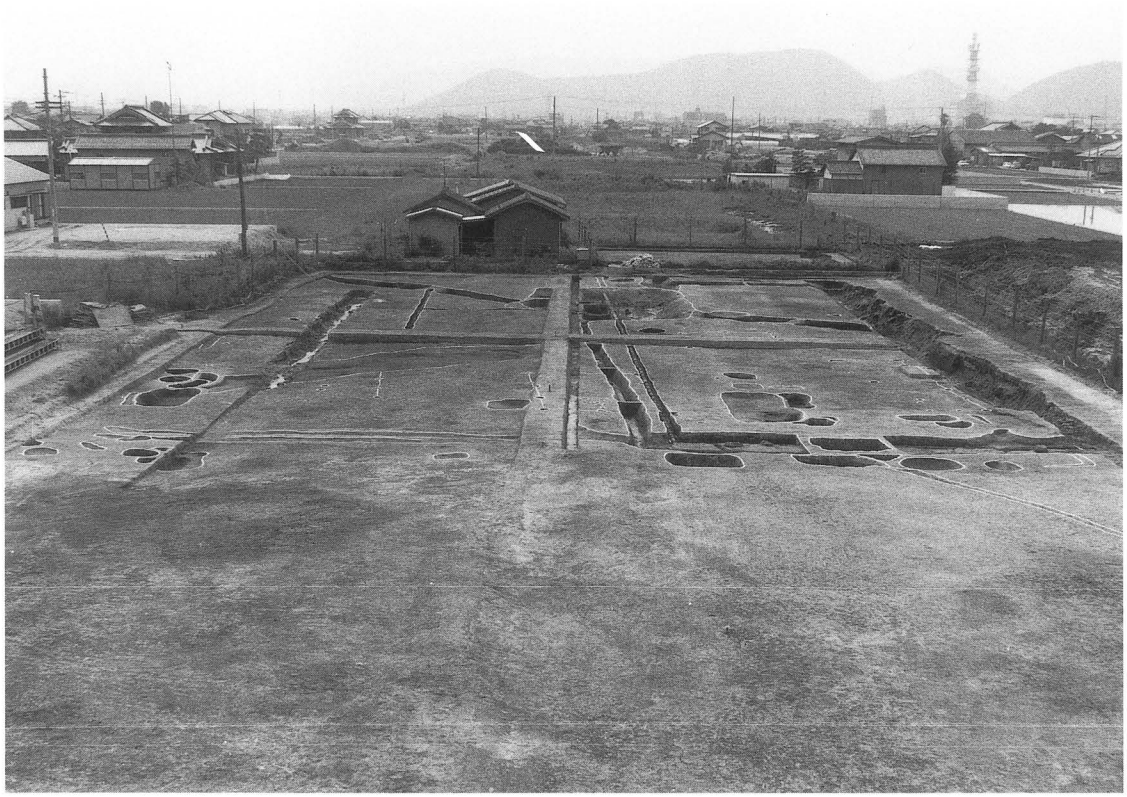
2．ＳＤ０９土層堆積状況



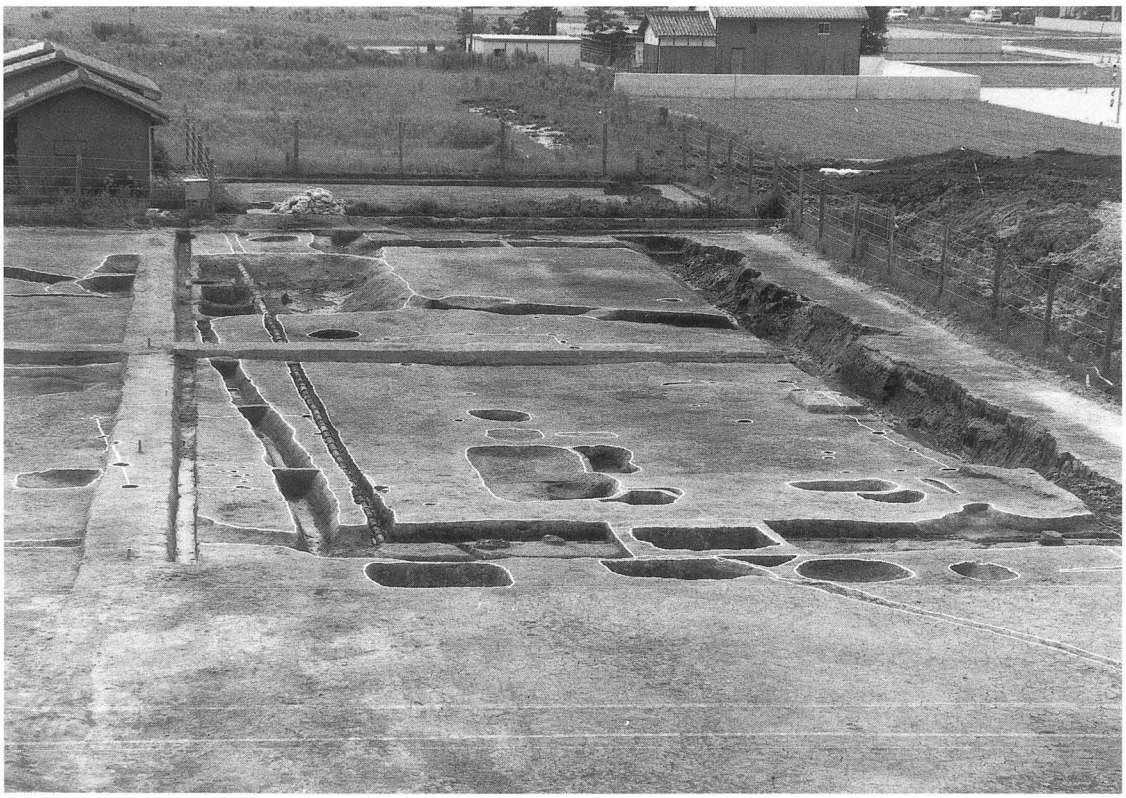
1．ＳＤ１２，１３完掘状況
（南西から）



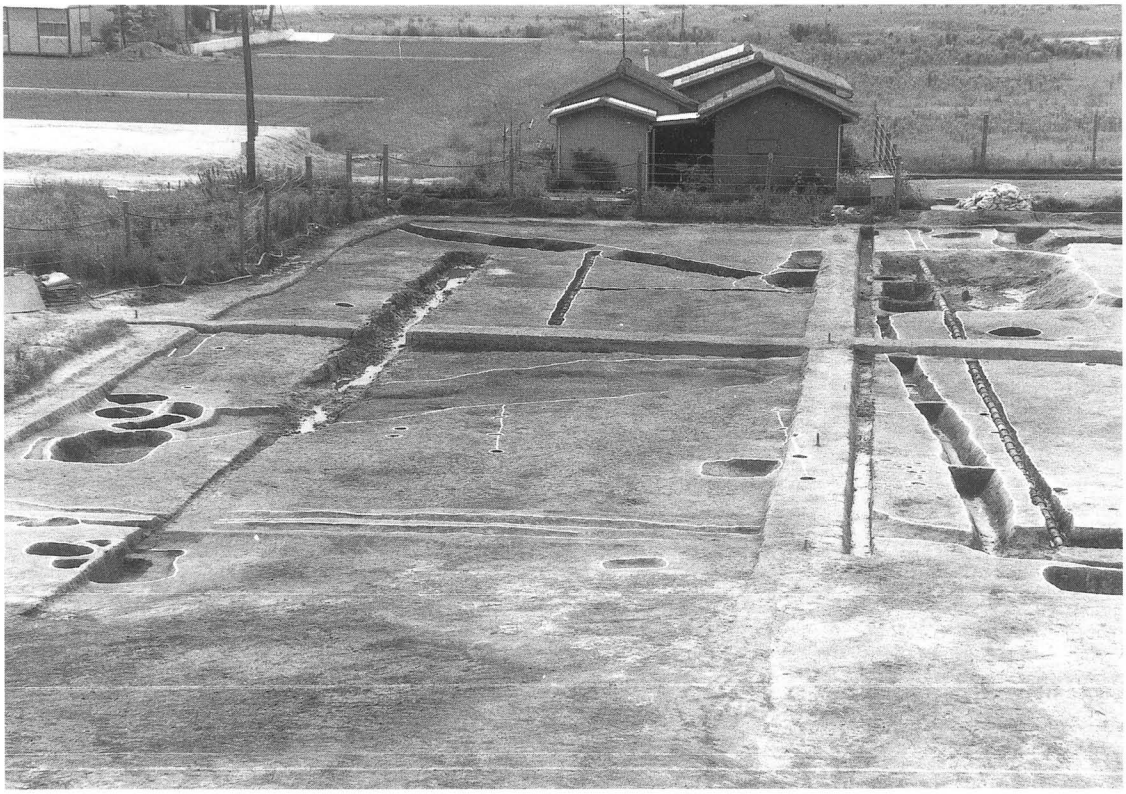
2．ＳＤ０１完掘状況（南から）



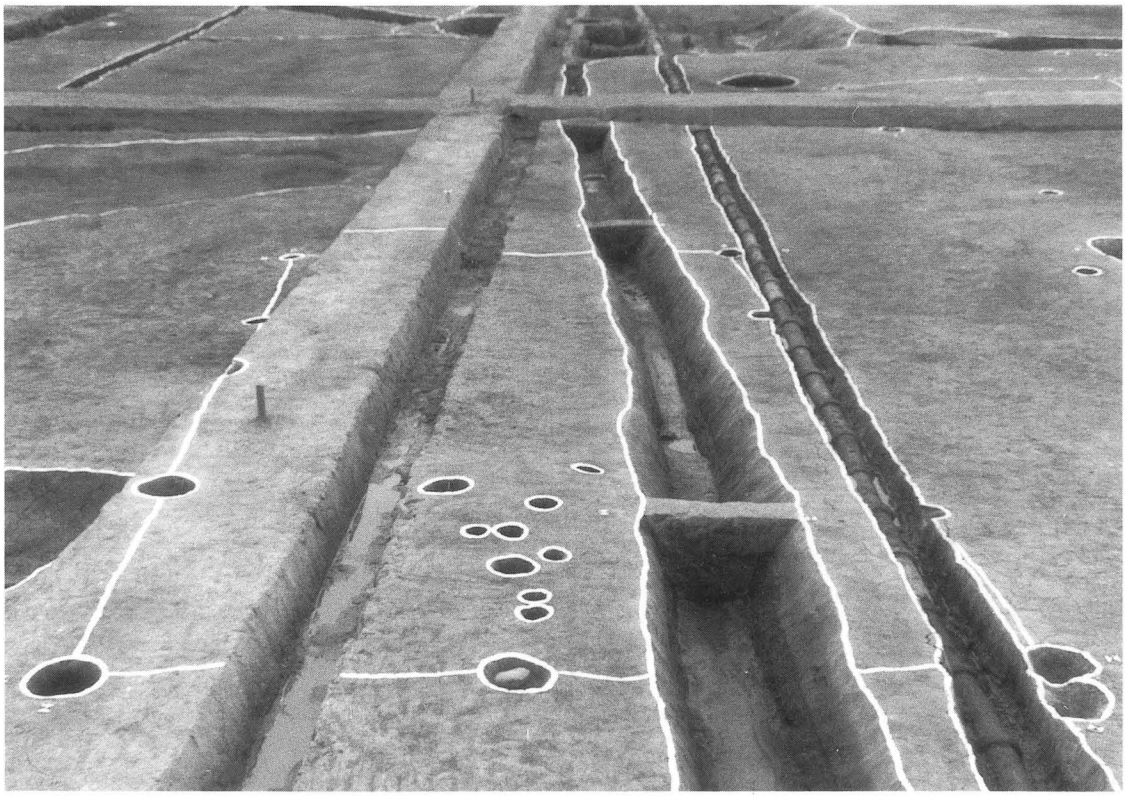
1．第１遺構面完掘状況（東から）



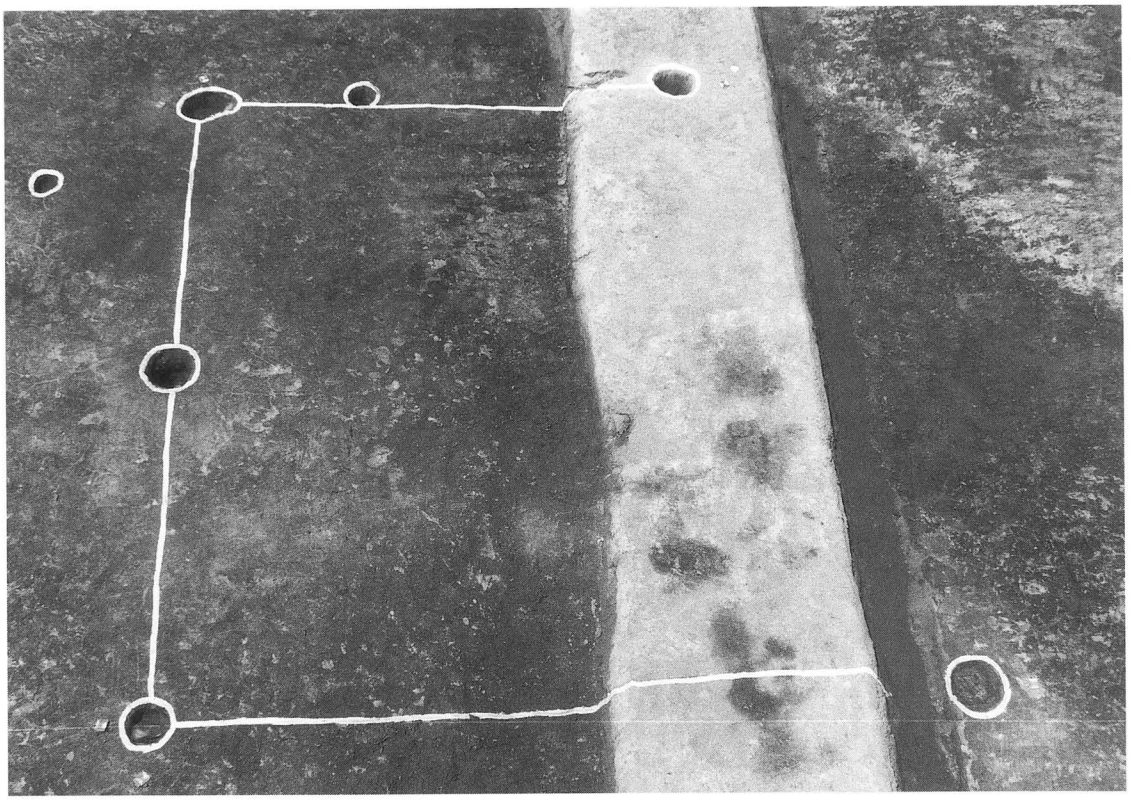
2．第１遺構面北部完掘状況（東から）



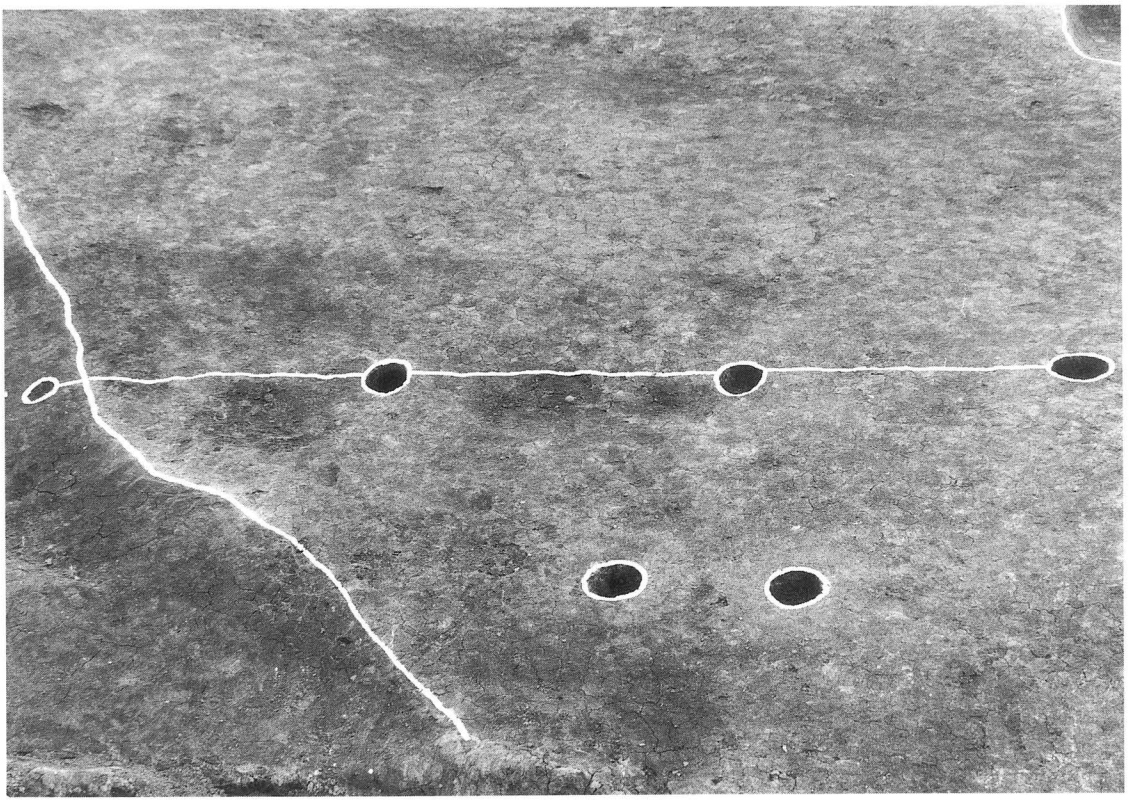
1．第１遺構面南部完掘状況（東から）



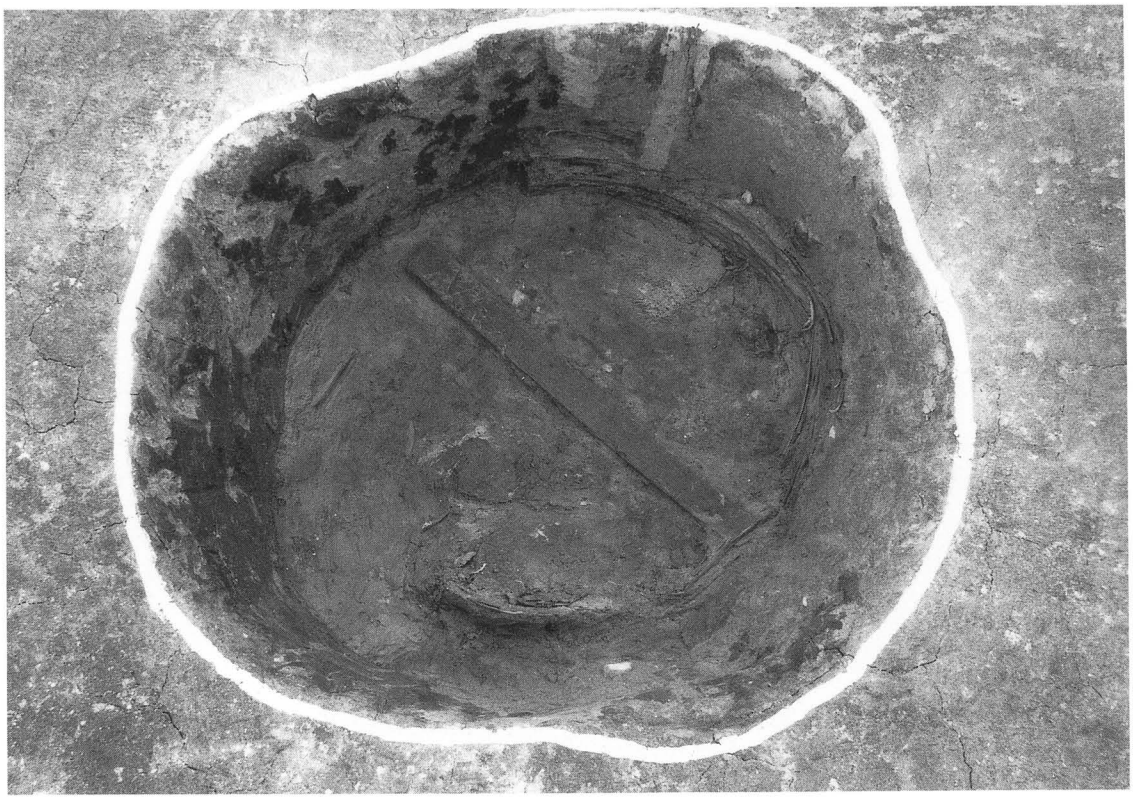
2．ＳＢ０１完掘状況（東から）



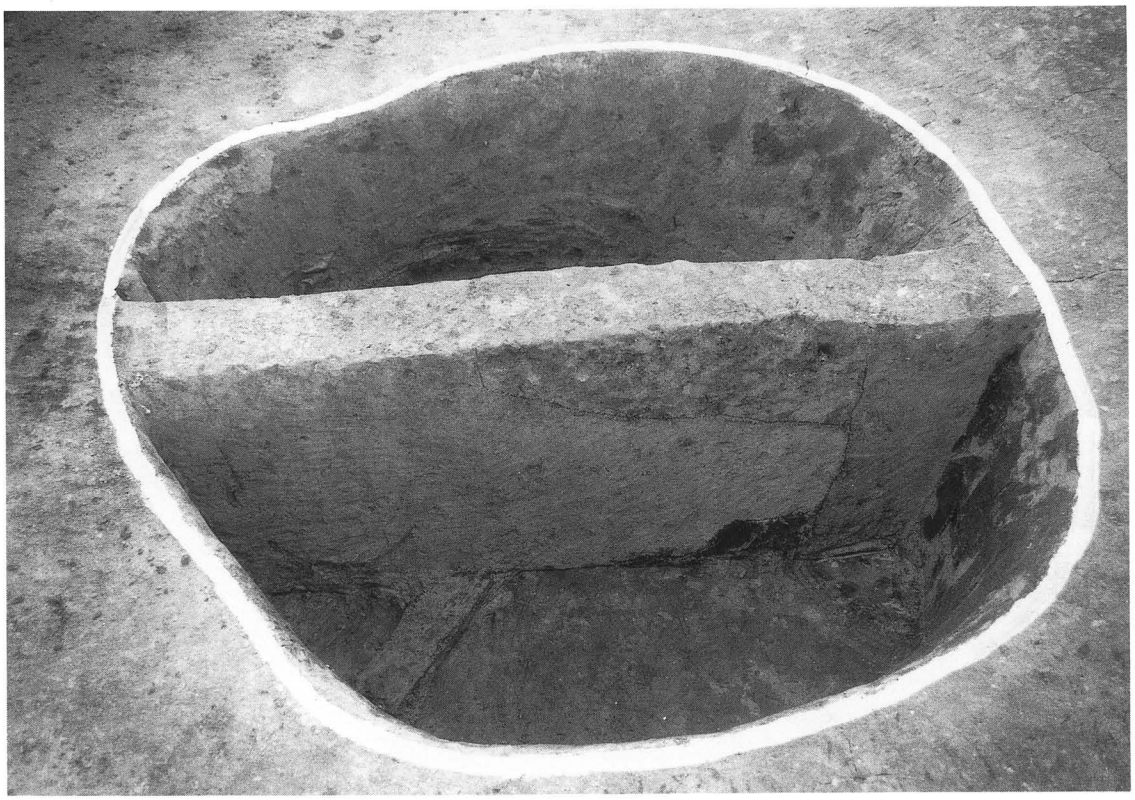
1．ＳＤ０２完掘状況（南から）



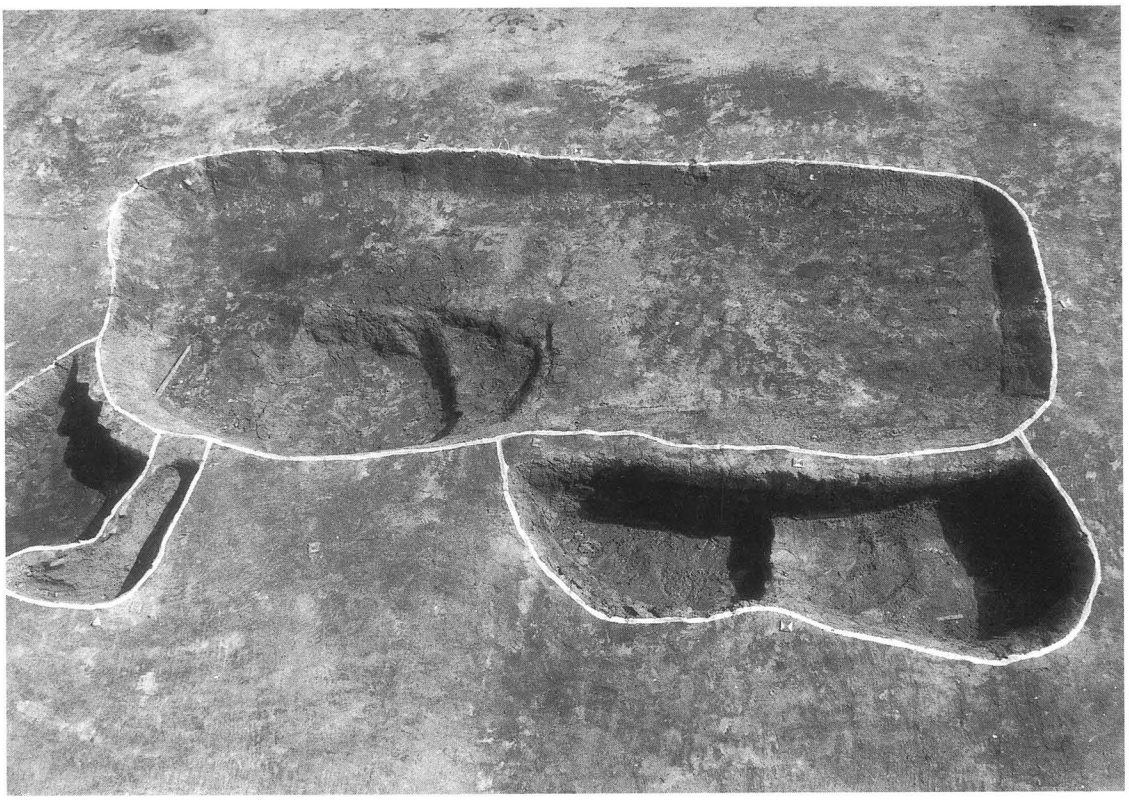
2．ＳＡ０１完掘状況（南から）



1．ＳＫ０４完掘状況（北から）



2．ＳＫ０４土層堆積状況（東から）

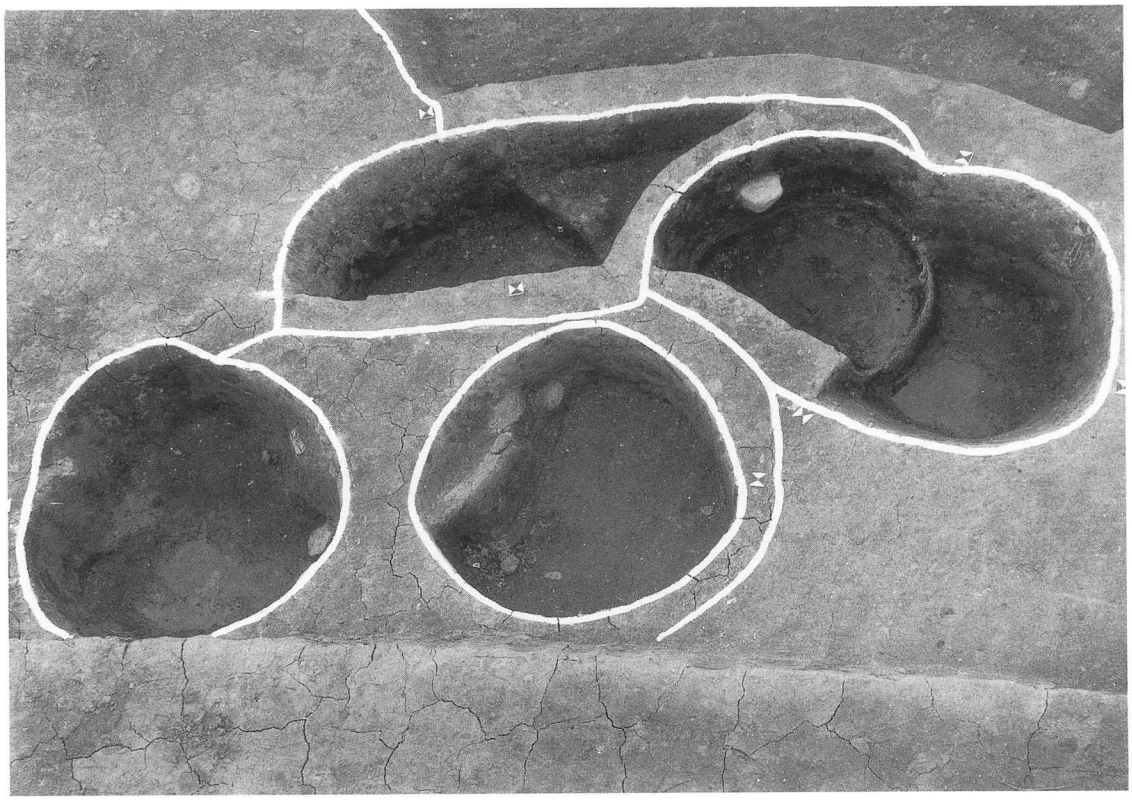


1．ＳＫ０８完掘状況（北から）

2．ＳＫ０８内北東部円形土坑完掘状況（東から）

1．ＳＫ０８土層堆積状況

2．ＳＫ０８遺物出土状況



1．ＳＫ２７～３０完掘状況（南から）

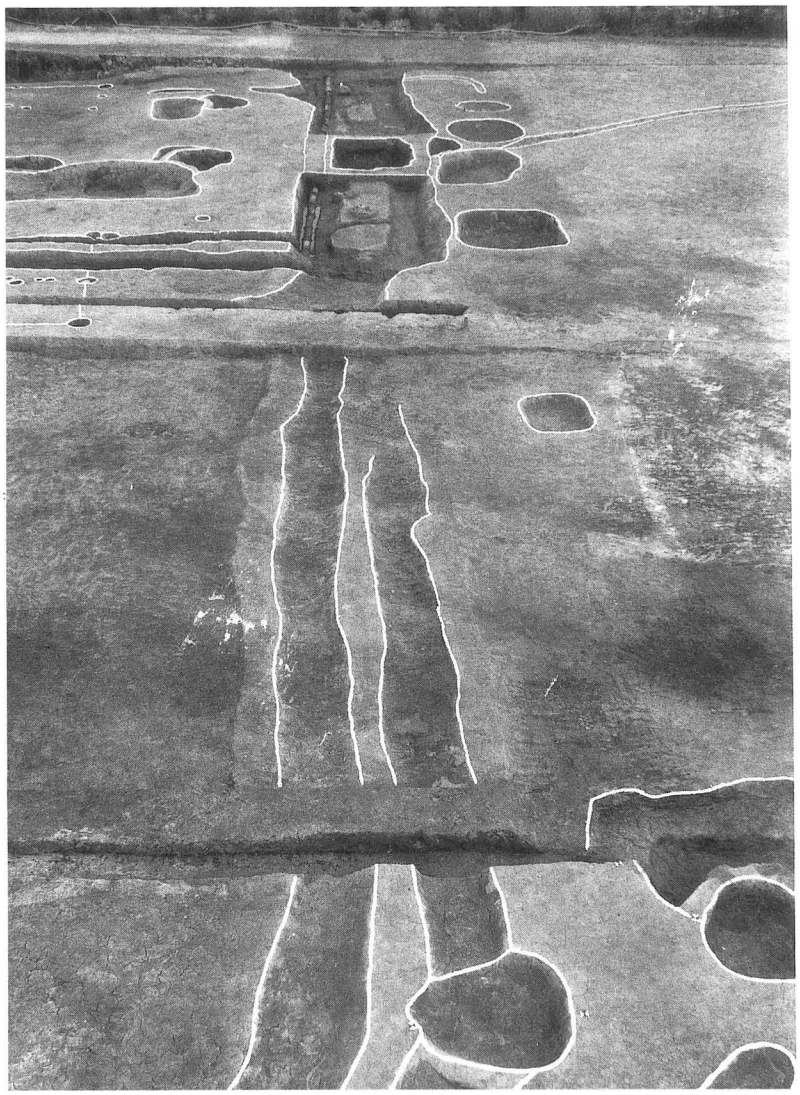
2．ＳＫ２９完掘状況（南から）

1．ＳＫ２７完掘状況（東から）

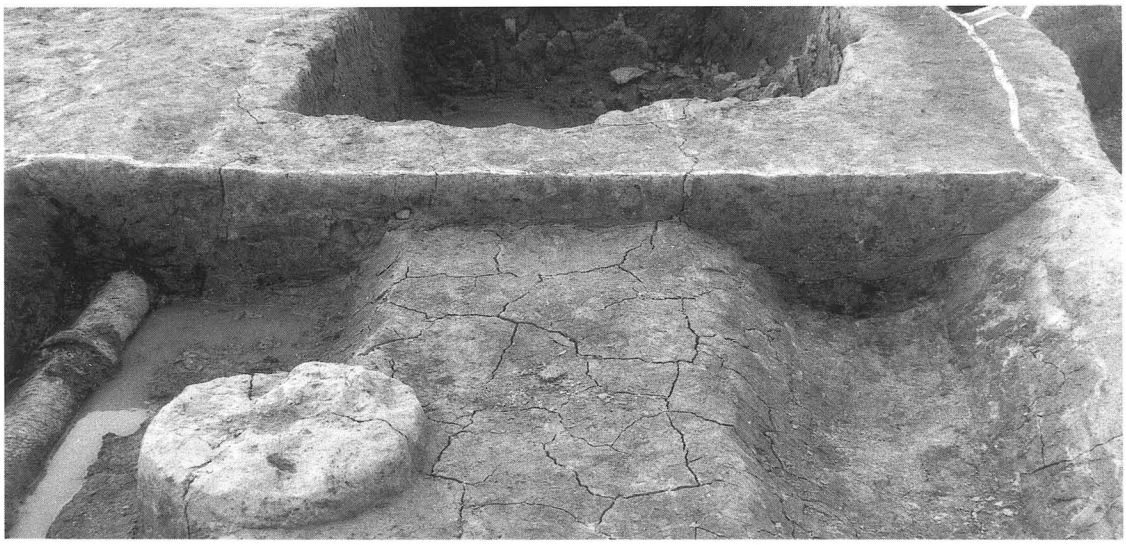
2．ＳＫ２７完掘状況細部

1．ＳＤ０５・０６完掘状況
（北から）

2．ＳＤ０５土層堆積状況



1．ＳＤ０８完掘状況
（南から）

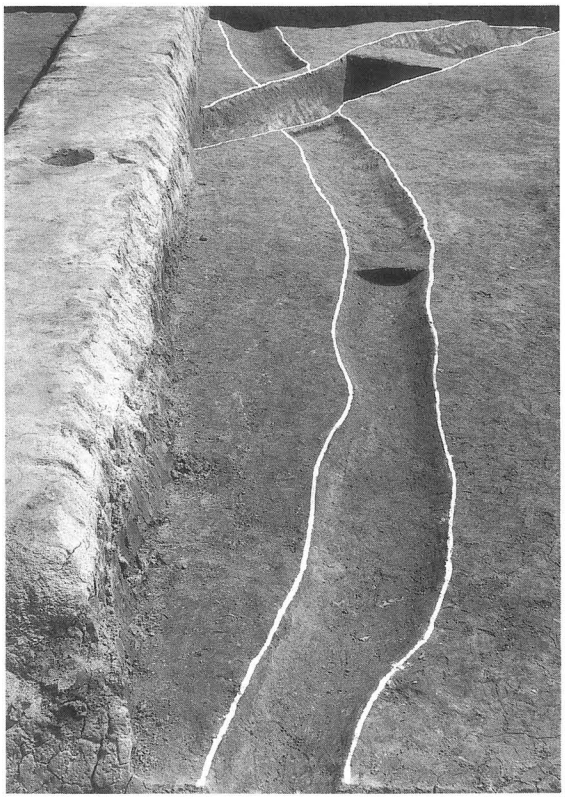


2．ＳＤ０８土層堆積状況

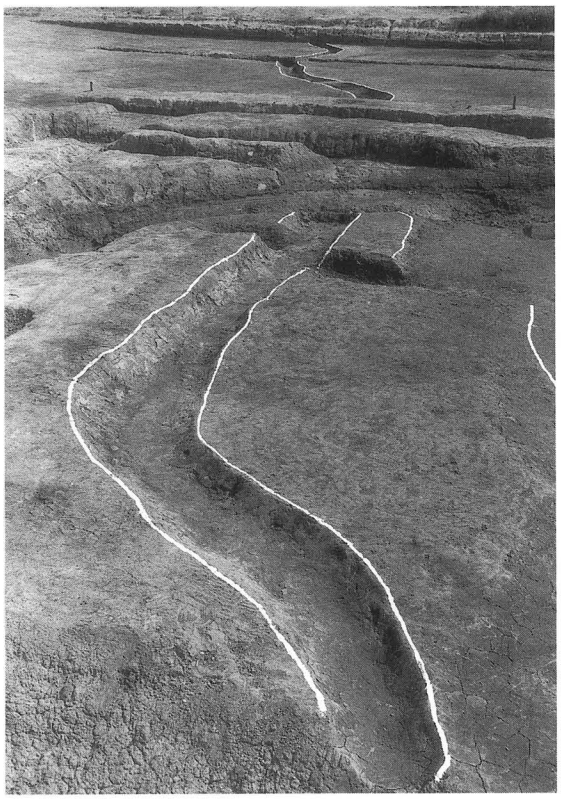
1．第３遺構面完掘状況（東から）

2．第３遺構面完掘状況（南西から）

1．ＳＤ１６・１７・１９完掘状況（南西から）



2．ＳＤ１７完掘状況（北から）



3．ＳＤ１５完掘状況（北から）

1．ＳＤ１６完掘状況（北から）

2．ＳＤ１６土層堆積状況

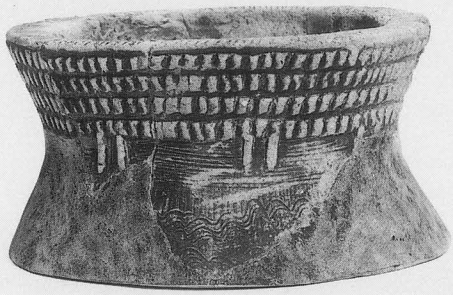
22－17

22－18

22－8

22－19

22－15



22－20

SD10，11出土遺物　土器(1)　広口壷

ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(2)　広口壷、無頸壷、甕

33－14

33－11

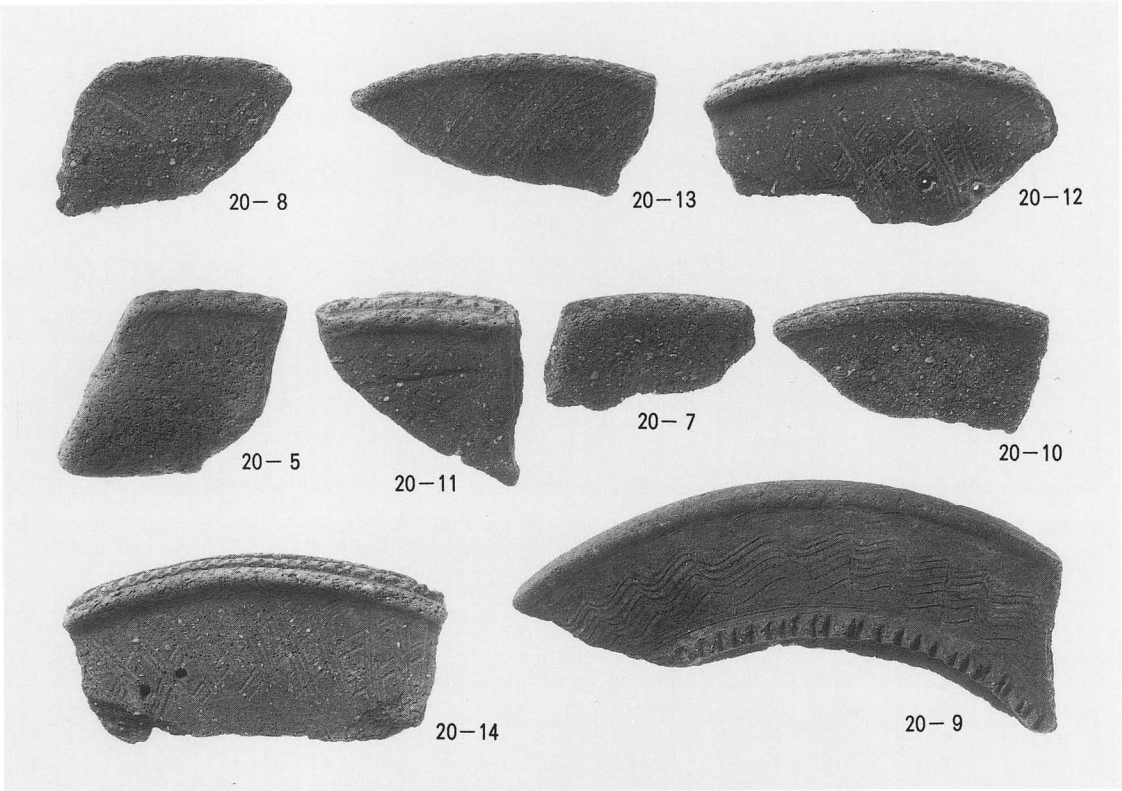
34－7

33－15

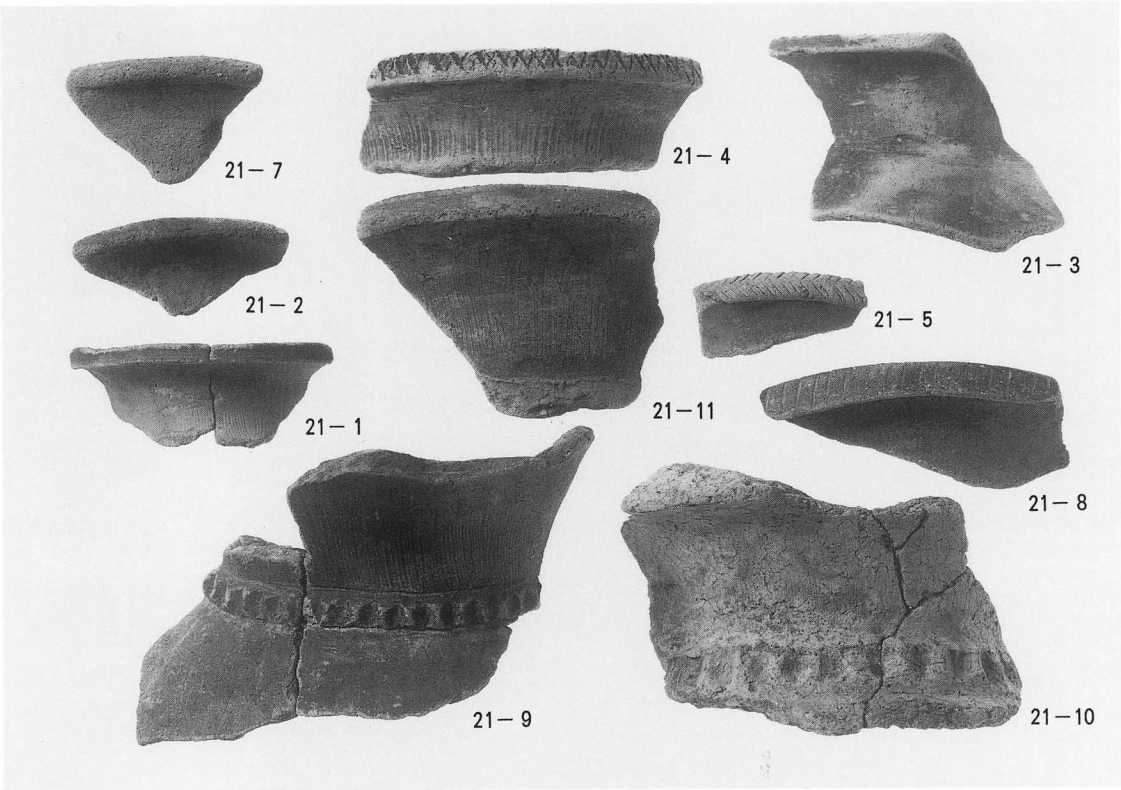
34－5

32－6

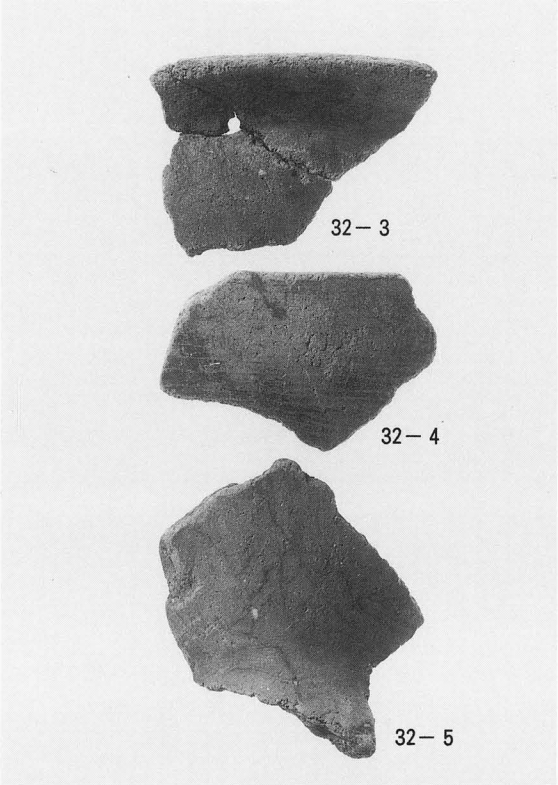
ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(3)　鉢、高坏



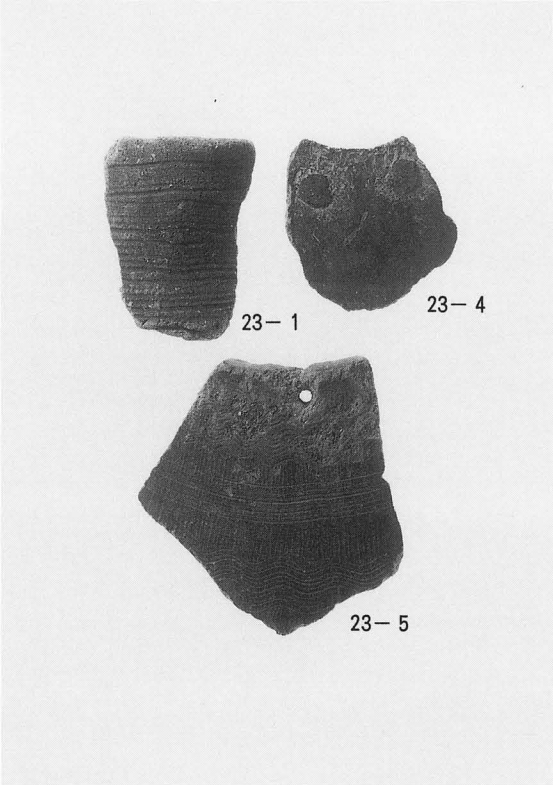
1．ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(4)広口壷



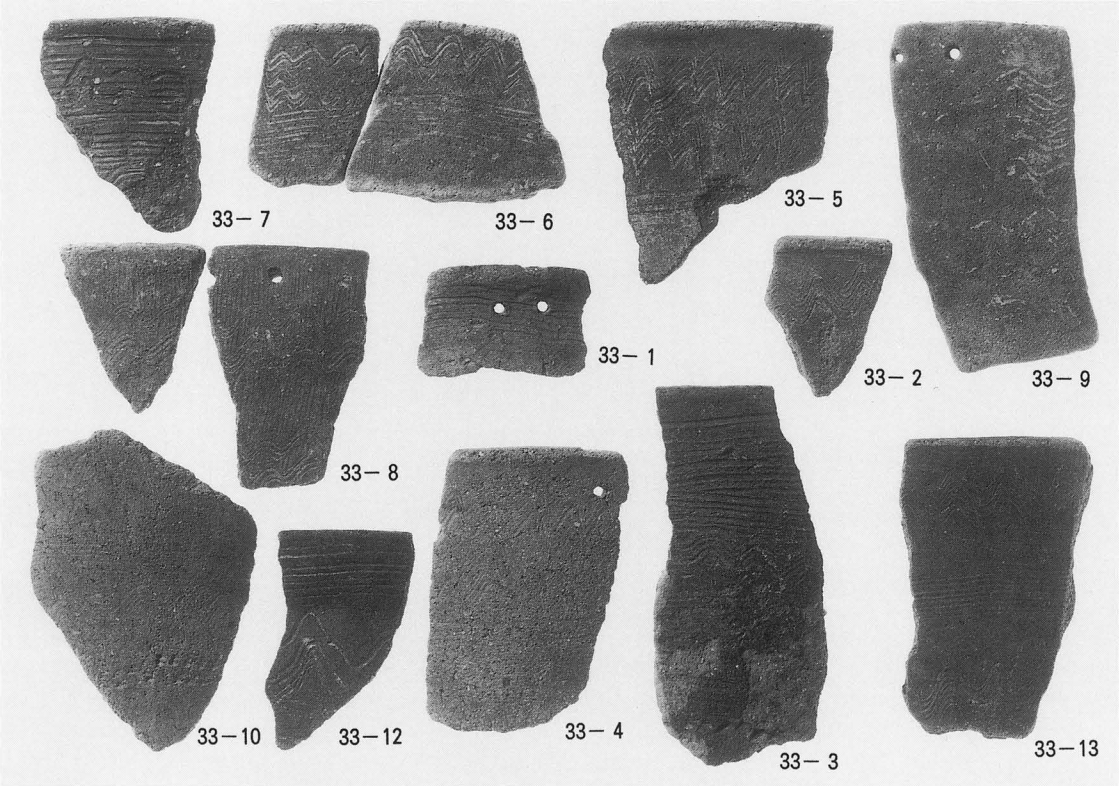
2．ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(5)広口壷



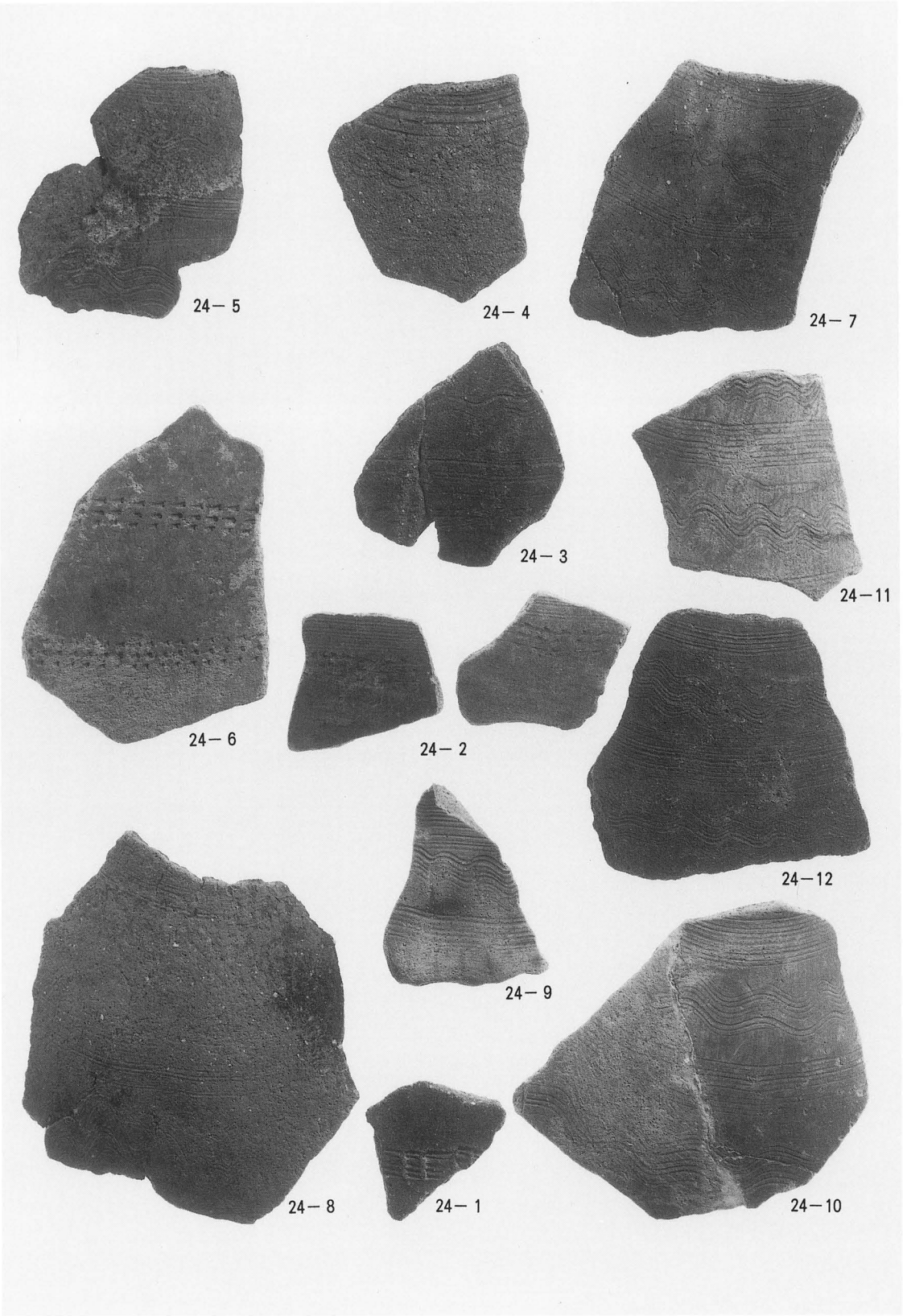
1．ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(6)鉢、高坏



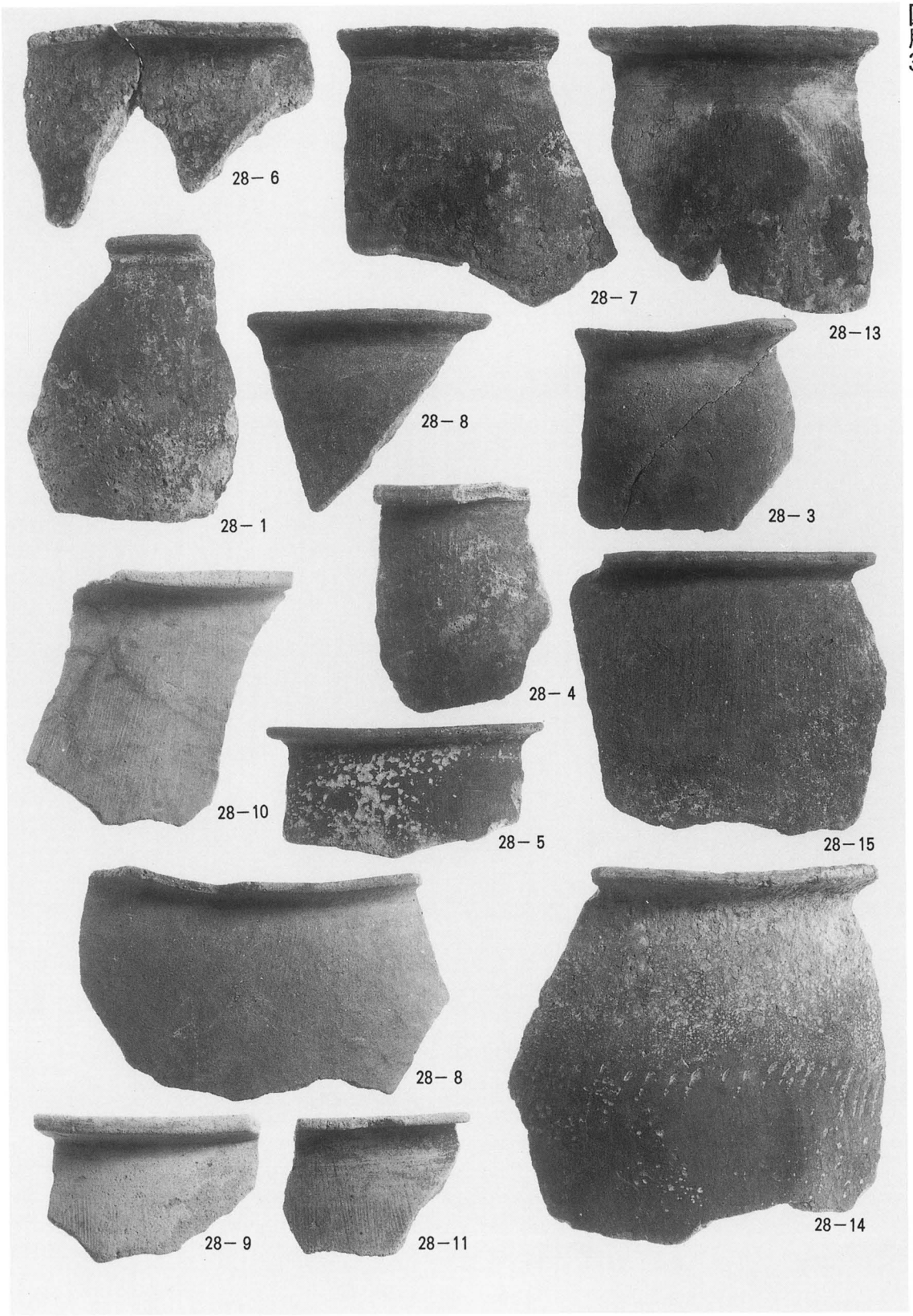
2．ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(7)長頸壷、無頸壷



3．ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(8)鉢



ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(9)壷体部



ＳＤ１０，１１出土遺物　土器(10)甕